

PORTS OF OSAKA PREFECTURE



新設の浮桟橋(令和7年4月14日)

大阪府の みなと

2025.7 No.140

C·O·N·T·E·N·T·S

TOPICS

令和7年度 大阪港湾局(府営港湾)の事業概要	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課事業企画・防災／ 臨海開発担当/計画調整部 計画課計画調整担当	1～4
堺泉北港 塩浜岸壁(仮バース)係船料お支払い受付時間変更のお知らせ	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課 泉北管理担当	5
岸和田旧港地区事業用地 進出企業が決まりました！	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課	5
大阪港湾局(府営港湾)における企業誘致情報	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課	6
令和6年度大阪みなとセミナー(大阪会場)を開催しました	大阪港湾局 計画整備部 振興課/泉州港湾・海岸部 総務振興課	7
大阪湾つながる海の旅づくりプロジェクト～深日港洲本港航路再生に向けた取組み～	岬町 まちづくり戦略室企画政策推進担当	8・9
府営港湾の整備、振興に関する要望活動	(一社)大阪府港湾協会	10
他港視察(静岡県清水港)を実施します！	(一社)大阪府港湾協会	10
堺旧港周辺における取組について	堺市 建築都市局 都心未来創造部 都心未来創造課	11～13
大阪“みなと”(大阪港・堺泉北港・阪南港)のCNP形成戦略の立案について	大阪港湾局 計画整備部 計画課計画調整担当	14
カナデビアグループのカーボンニュートラルへの取組みと大阪・関西万博	カナデビア株式会社堺工場	15～17

PORT NEWS

令和6年度フィリピンプロモーション	大阪港湾局 計画整備部 振興課利用促進担当	18
令和6年度堺泉北港地元港湾振興会合同研修会を開催しました	泉大津港湾振興会	19
泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会の取組みについて	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課総務振興／ 事業企画・防災課地域調整担当	20
水際のテロ対策強化への協力依頼	大阪税関 堺税関支署	20
岩手県へポートセールスを行いました～堺泉北港をPR～	堺泉北埠頭株式会社	21・22
コンテナ荷役機器「ストラドルキャリア」新鋭機が稼働～堺泉北港「助松コンテナターミナル」～	堺泉北埠頭株式会社	23
令和6年 大阪府営港湾の港勢(堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)速報値	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課総務振興	24～27

会員様紹介コーナー

日本のエネルギー基盤を支える岩谷液化ガスターミナル	岩谷液化ガスターミナル株式会社	28～30
～堺LPG輸入ターミナル発 持続可能なエネルギー供給ネットワークの構築～		
上組の起源。～今、これから 上へ上へ	株式会社上組大阪支店	31～34
大王海運株式会社:誠意と熱意を胸に、総合物流で社会を支える	大王海運株式会社	35～37

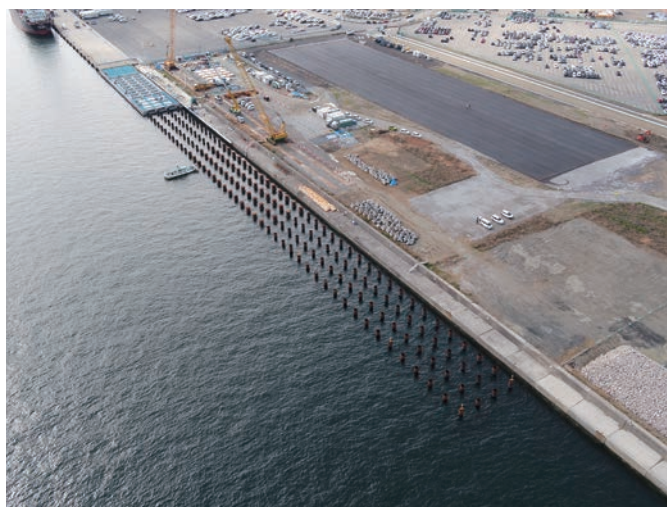
令和7年度 大阪港湾局(府営港湾)の事業概要

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課事業企画・防災／臨海開発担当/計画調整部 計画課計画調整担当

1. 港の国際競争力の強化

◆「(国直轄事業) 堺泉北港 汐見沖地区 夕風第2号岸壁 整備事業」 (令和7年度 大阪府当初予算8.2億円 ※大阪府負担額)

国際拠点港湾である堺泉北港では、阪神港の国際競争力強化への寄与等を目的とした埠頭再編を行い、内航 RORO やコンテナ機能、中古車輸出拠点機能の強化を図るため、汐見沖地区において令和元年度から新規岸壁（水深12m、延長300m）の整備を国直轄事業として進めています。令和7年度は、完成に向けて引続き岸壁本体工事を実施します。



夕風第2号岸壁 工事状況

◆「港湾関連用地の埋立造成及び基盤整備」(令和7年度 大阪府当初予算8.6億円)

堺泉北港汐見沖地区（泉大津フェニックス）において、夕風第2号岸壁の整備に合わせて、背後地の上下水道や道路のインフラ整備を実施します。また、阪南港阪南2区（ちきりアイランド）において、下水道実施設計など、今後の企業誘致に向けたインフラ整備等の設計を実施するほか、北側緑地護岸の設計・工事を実施します。



堺泉北港 汐見沖地区（泉大津フェニックス）



阪南港 阪南2区（ちきりアイランド）

2. 災害に強く、安全で使いやすい港の実現

◆「堺泉北港 汐見地区 汐見第3号岸壁 更新事業」（令和7年度 大阪府当初予算2.7億円）

輸入合板を多く取り扱う堺泉北港汐見地区の汐見第3号岸壁について、荷役の安全性確保（安全・安心の確保）のため、老朽化した岸壁の更新を進めています。令和7年度は、昨年度から引続き残りの区間の工事を実施します。



汐見第3号岸壁 工事状況

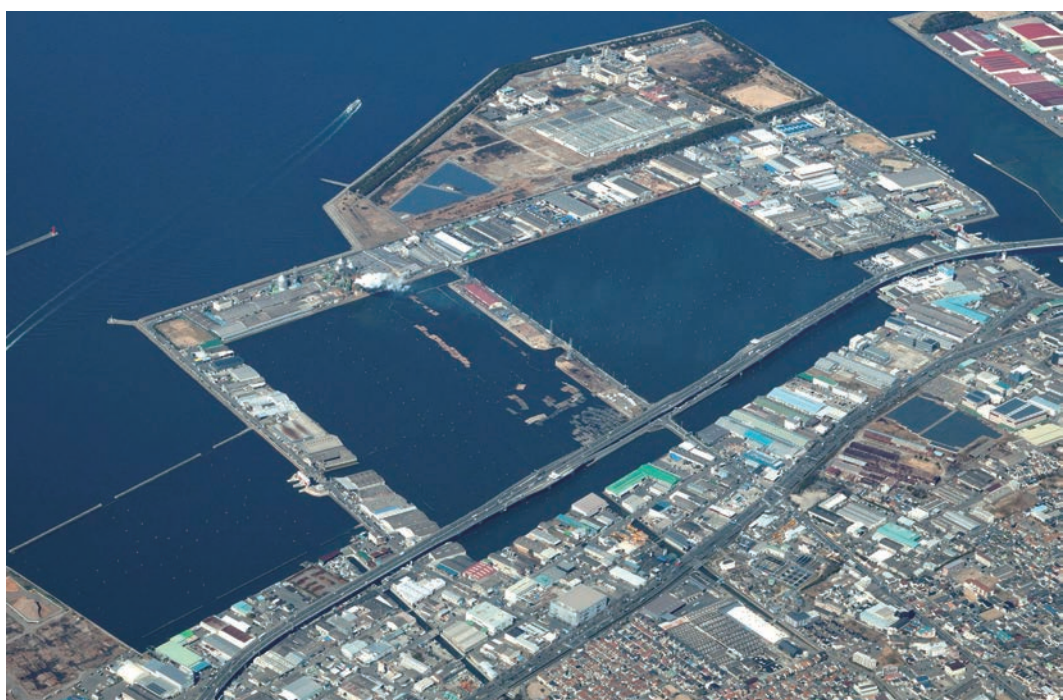
3. 臨海地域の活性化

◆「木材コンビナート貯木場の埋立検討に係る予備調査」（令和7年度 大阪府当初予算2.7億円）

阪南港木材港地区の木材コンビナートは、大阪湾における木材受け入れ施設の不足に対応するため、昭和39年に着工し、昭和41年に完成しました。最盛期には、貯木場に南洋材の丸太が所狭しと浮かんでいましたが、昭和50年代以降、木材の輸入形態が原木から製品へ移行したことで原木の取扱量が減少し、令和3年以降、原木の取扱いはなくなっています。

木材港地区は、阪神高速湾岸線のインターチェンジや府道大阪臨海線に隣接する等、交通アクセスに優れた立地であることから、遊休化した水面を活用して産業・物流用地等を創出し、地域振興につなげる事が期待されています。

一方、今後府内で予定されている大規模公共事業から大量に発生する土砂の受入先確保が必要となっている状況も踏まえ、令和6年度から木材コンビナート貯木場の埋立の検討にかかる予備調査として、環境影響評価に着手し、今年度は現地での環境調査や測量、土質調査、予備設計等を実施する予定です。



阪南港木材港地区木材コンビナート貯木場

4. 府市港湾一体となった集荷の促進

◆「集荷機能強化対策事業」（令和7年度当初予算1,000万円）

大阪港湾局では、「カーボンニュートラル」や「モーダルシフト」など、社会環境の変化により生じた物流の課題に府市が連携して対応し、大阪“みなと”（府営港湾及び大阪港）の取扱貨物量の拡大を図るため、以下3つの事業を実施します。令和7年度より、補助対象にフォワーダーを新たに加え、より多くの方にご利用いただける内容に拡充しています。詳細については、大阪港湾局振興課利用促進担当までお問い合わせください。

（1）RORO・フェリー航路充実強化事業

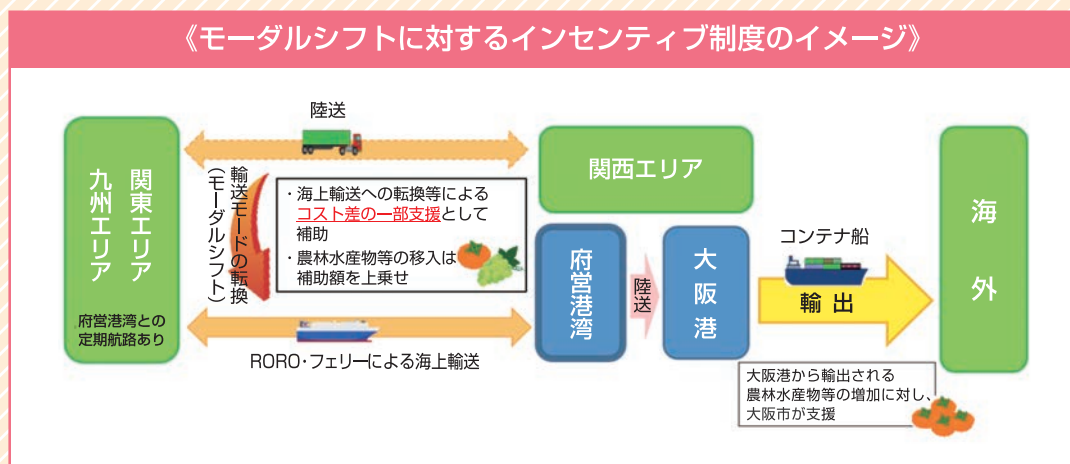
船舶の大型化等による貨物増を実現した RORO・フェリー船社を対象に、貨物量の増加に応じた支援として補助を行います。

（2）内貿貨物集荷促進事業

荷主やフォワーダーを対象に、陸上輸送から府営港湾を就航する RORO・フェリーによる海上輸送に貨物を転換等した際のコスト差額の一部を補助します。また、大阪港等を通じた輸出拡大の取組（産直港湾）を進めるため、国内他港（大阪港・神戸港を除く）から府営港湾に集荷される農林水産物等（農林水産物・食品）については、補助額を上乗せします。

（3）外貿貨物集荷促進事業

国内他港（大阪港・神戸港を除く）を利用して輸出入を行っていた貨物を府営港湾に転換等する荷主やフォワーダーに対し、転換貨物等の量に応じた支援として補助を行います。また、大阪港等を通じた輸出拡大の取組（産直港湾）を進めるため、府営港湾から輸出される農林水産物等については、補助額を上乗せします。



補助内容（1） RORO・フェリー航路充実強化事業

対象者	船舶の大型化等による貨物増を実現した RORO・フェリー船社
対象期間	新たな航路等の開設を行った日から令和8年3月31日（火）まで
助成額	●増加車両1台につき 5,000円 もしくは 増加貨物10トンにつき 5,000円

補助内容 (2) 内貿貨物集貨促進事業	
対 象 者	陸送から府営港湾に就航する RORO・フェリーによる海上輸送に転換した <u>荷主・フォワーダー等</u>
対象期間	令和7年4月1日（火）から令和7年9月30日（火）まで
助 成 額	トラック・トレーラー1台あたり（片道分） ● 堺泉北港～千葉港 <u>19,000 円</u> ● 堺泉北港～新門司港 <u>14,000 円</u> ● 堺泉北港～宮崎港 <u>14,000 円</u> ※6m以下のトラック・トレーラーの場合は下記単価の1/2を補助額とする ※増加貨物が、堺泉北港へ移入される農林水産物等の場合、コンテナ1TEU又は20トンあたり、5,000円を上記の補助金額に加算

補助内容 (3) 外貿貨物集貨促進事業	
対 象 者	国内他港（大阪港・神戸港を除く）から府営港湾に利用を転換等して輸出入を行う <u>荷主・フォワーダー等</u>
対象期間	令和7年4月1日（火）から令和7年9月30日（火）まで
助 成 額	● 増加コンテナ貨物1TEU又は20トンにつき <u>5,000 円</u> ※増加貨物が、堺泉北港から輸出される農林水産物等の場合、コンテナ1TEU又は20トンあたり、5,000円を上記の補助金額に加算

5. 府市一体となった旅客船の利用促進

◆「旅客船利用促進事業」（令和7年度当初予算580万円）

府営港湾と大阪港を発着する旅客船（フェリー）会社と両港の港湾管理者である大阪港湾局が一体となって、旅客船の利用促進に向けた取組を実施し、両港の活性化を図ります。

具体的には、HP やポスターでの PR 等、府民が旅客船に触れる機会を創出し【見る】、フェリー事業者や業界関係者による講演やパネルディスカッション等を通じて、各フェリーの航路や船内での過ごし方、船旅の魅力を感じてもらえるセミナーを開催します【知る】。また、両港に就航するフェリーをチャーターし、船内視察や船内施設の利用、海上から眺める湾周辺の街並みなどフェリーならではの魅力を堪能できる湾内クルーズによる乗船体験を通じ、旅客船の安全性・利便性・快適性を感じてもらい【体験する】ことをめざします。



令和6年7月に実施 大阪湾クルーズの様子



令和7年2月に実施 フェリーセミナーの様子

堺泉北港 塩浜岸壁(仮バース)係船料お支払い受付時間変更のお知らせ

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課泉北管理担当

大阪港湾局では、泉州港湾・海岸部の組織を再編し、堺市と岸和田市に所在する庁舎を、泉大津市の堺泉北港ポートサービスセンタービルに移転しました。

これに伴い、堺市の庁舎（旧・堺泉北港湾事務所）において実施している、塩浜岸壁（仮バース）の係船料の収受業務については、下記のとおり受付時間を変更しましたのでお知らせいたします。

受付時間

10:30～11:30
14:00～15:00

(いずれも開庁日)

※受付時間内であっても緊急対応等で不在となる
場合があります。あらかじめご了承ください。

- 受付場所：堺市堺区塩浜町1番地 旧・堺泉北港湾事務所（変更なし）
- 本件に関するお問い合わせ先 ……大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課
泉北管理担当 TEL：0725-21-7248
FAX：0725-21-1551

岸和田旧港地区事業用地 進出企業が決まりました！

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課

大阪府では、府営港湾の運営を行うとともに、臨海部でのにぎわいづくりや都市機能用地や製造業・物流用地等の整備を行っています。令和7年2月に実施した公募申込者によるプレゼンテーションに対する有識者による審査等を踏まえ、同年3月、進出事業者が決まりました。今後、同社の同地区への進出が地元の活性化及び港湾関係者の事業に寄与することが期待されます。

【事業用地の概要等】

所在地：大阪府岸和田市港緑町113番1

公募物件及び面積

土地：1筆 10,169.55㎡

建物：3棟 計990.61㎡

（事務所、倉庫、車庫）

【進出企業・事業概要】

企業名：株式会社古川重機興業

所在地：岸和田市土生町12丁目13-19

主な事業内容：クレーンリース業（既存）、
登録教習機関（新規）

■岸和田旧港地区事業用地 位置図



大阪港湾局(府営港湾)における企業誘致情報

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課

◆泉大津フェニックス工業用地（リサイクル関連産業用地）の公募開始！

大阪府では、大阪湾圏域広域処理場整備事業（大阪フェニックス計画）により、堺泉北港汐見沖地区の泉大津沖処分場（泉大津フェニックス）において、廃棄物の埋立事業を進めています。泉大津フェニックスは、140haの安定型区画と65haの管理型区画をあわせ、全体で205haの面積を有しており、安定型区画にある工業用地の一部は、循環型社会の形成に寄与することを目的とした「リサイクル関連産業用地」として定めています。

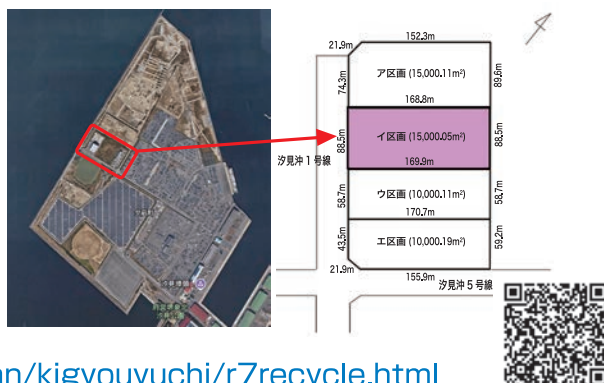
令和7年5月30日（金）、大阪港湾局では、「リサイクル関連産業用地」として定めた工業用地（1.5ha）において、「廃棄物等」を用いて「再生利用（リサイクル）等」を行う事業者を対象にした条件付一般競争入札による公募を開始しました。

【事業用地の概要等】

所在地：大阪府泉大津市夕凧町13番3
 土地面積：15,000.05㎡（約4,538坪）
 用途地域：準工業地域
 （容積率：200% 建ぺい率：60%）
 臨港地区：工業港区

※詳細は、右記のQRコードもしくは下記のURLによりご確認ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o150010010/kowan/kigyoyuchi/r7recycle.html>



◆ちきりアイランド第1期保管施設用地 物流の拠点として注目されています！

大阪府では、岸和田市沖合に、港湾物流機能の強化・拡充をはじめ、地域の産業活性化等のため「ちきりアイランド」（阪南港阪南2区）の整備を進めています。これまで、第1期保管施設用地16.4haのうち、用地造成がほぼ完了した約9haについて公募を行い、約6haに4社が進出されています。残りの区画3haについても、物流拠点として企業に活用いただくため公募予定です。

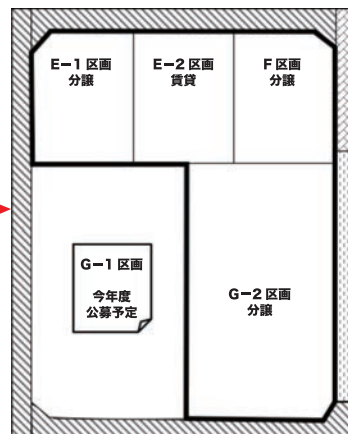
【事業用地の概要等】

所在地：大阪府岸和田市岸之浦町
 用途地域：準工業地域
 （容積率：200% 建ぺい率：60%）
 臨港地区：商港区
 地区計画：岸和田市岸之浦地区 地区計画（C地区）



【進出企業】

区画	企業名
F	株式会社東昌ホールディングス
E-1	株式会社菰下鋸断
E-2	関西トランスウェイ株式会社
G-2	大喜工業株式会社



★ビジネス展開をお考えの方はご一報ください。

《企業誘致担当 電話 0725-21-7203（ダイヤルイン）》

令和6年度大阪みなとセミナー(大阪会場)を開催しました

大阪港湾局 計画整備部 振興課／泉州港湾・海岸部 総務振興課

令和7年3月28日(金)に「大阪みなとセミナー」を開催しました！当日は142名の参加者にお集まりいただきました。

大阪港湾局からは、直後に開幕を控える万博会場付近の交通対策に加えて、大阪みなとの優位性や令和7年度実施のインセンティブ等について説明を行いました。

その後、昨年10月にMOUを締結した宮崎県様に事業の取組についてご説明いただき、八興運輸株式会社様、日本貨物鉄道株式会社様にご講演いただきました。

講演終了後は、講演者への質問やセミナー参加者同士での情報交換を行う場として、情報交換会が実施され、こちらも多くの参加者にご出席いただきました。

令和7年度におきましても、大阪みなとセミナーの実施を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【大阪会場】

◇開催日：令和7年3月28日(金)

◇会場：シティプラザ大阪（大阪府大阪市中央区本町橋2-31）

◇参加者：142名

◇講演内容：○「大阪"みなと"について」

大阪港湾局 計画整備部長 池田 佳介

○事業紹介「宮崎県港湾の概要(宮崎港・細島港のご紹介)」

宮崎県 県土整備部 空港・ポートセールス対策監 岡部 章 氏

○事業紹介「八興運輸株式会社 宮崎県のライフラインを担うために」

八興運輸株式会社 陸運部 大阪営業所 所長 川原 博文 氏

○事業紹介「『貨物鉄道輸送』のご紹介」

日本貨物鉄道株式会社 関西支社営業部長 八木 清志 氏



開会挨拶 大阪港湾局 理事



会場の様子

大阪湾つながる海の旅づくりプロジェクト ～深日港洲本港航路再生に向けた取組み～

岬町 まちづくり戦略室企画政策推進担当

●深日港と洲本港をつなぐ航路再生に向けた取組み

岬町と兵庫県洲本市では、両市町を中心とした広域交流の促進と地域の活性化を図るべく、かつて結ばれていた旅客船の航路復活に向けた取組みを行っています。

平成28年4月に両市町及び国や港湾管理者等の関係機関により構成される「深日港洲本港航路に関する連携協議会」が発足し、この協議会での意見等を踏まえ、平成29年度より岬町と洲本市を結ぶ旅客船「深日洲本ライナー」の運航を実施しています。

大阪湾の南に位置する深日港と洲本港間を旅客船で結ぶことで、大阪湾を横断する広域観光ルートを形成し、サイクリストをはじめとする旅行者の利用を推進することで、広域サイクルツーリズムを展開するとともに、訪日外国人観光客が集中する地域から、大阪府南部、兵庫県の淡路島など、優れた景観・文化を有する地域に観光客を誘導することができ、関西国際空港を利用するインバウンド旅行者による経済効果を近畿全域に行き渡らせることができます。

本ルートの形成により創出される新しい人の流れを観光ビジネスへ波及させるため、商業施設や宿泊施設と提携した滞在型・着地型観光プログラムの造成を行い、通過型観光から滞在型・着地型観光への転換を図るとともに観光ビジネスにおける次世代の担い手を育成することで持続的な稼げる地域づくりを目指しています。

また、本航路は両市町と、その周辺地域の観光振興のみならず、大規模災害時に陸路が遮断された場合の、人流・物流の拠点としての活躍も期待されています。

今年度から使用船舶を変更し、従来よりもさらに快適に船旅をお楽しみいただけるようになりました。ぜひ、多くの方々に新しい船旅の魅力を知っていただき、ご利用いただけるよう取組みを推進します。



2025年5月3日(土・祝) 深日洲本ライナー出航式の様子

●過去の運航期間

【単年度計画 2017年】

- ・2017年6月25日(日)～2017年9月30日(土)

【3ヵ年計画 2018年～2020年】

- ・2018年7月1日(日)～2019年2月24日(日)
- ・2019年4月27日(土)～2019年10月27日(日)
- 土日祝日限定運航
- ・2020年5月2日(土)～2020年11月23日(火・祝)
- 土日祝日限定運航

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

・2021年10月23日（土）～2021年11月28日（日）

土日祝日限定運航

※当初運航計画：2021年6月26日（土）～2021年11月28日（日）

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開始時期延期

【3ヵ年計画 2022年～2024年】

・2022年6月25日（土）～2022年11月27日（日）

土日祝日限定運航

・2023年5月3日（水・祝）～2023年11月5日（日）

土日祝日限定運航

・2024年3月16日（土）～2024年11月4日（月・祝）

土日祝日限定運航

●今年度の運航について

運航期間：2025年5月3日（土・祝）～2025年11月3日（月・祝）

運航便数：1日4往復（合計8便）

時刻表：所要時間 片道40分

深日洲本ライナー 時刻表			
深日港発	洲本港着	洲本港発	深日港着
8:05	8:45	9:15	9:55
10:30	11:10	11:30	12:10
14:40	15:20	16:25	17:05
17:40	18:20	19:00	19:40

料金（片道）：大人（中学生以上）1,800円、小人（小学生）600円 ※小学生未満無料

スポーツサイクル 300円 ※自転車はスポーツサイクルのみ可 ※各種割引制度有

定員：120名

乗船予約：【インターネット予約】<https://fuke-sumotoliner.com>

【電話予約】深日港観光案内所「さんぽるた」072-447-6202

営業時間：9:30～16:30 ※月曜日定休



深日洲本ライナー「SEAGULL」



深日洲本ライナー「SEAGULL」船内写真

■各種SNS



公式ホームページ



X (旧Twitter)



Instagram

府営港湾の整備、振興に関する要望活動

(一社)大阪府港湾協会

府営港湾の整備や利用を促進するため、令和6年11月21日(木)国土交通省 近畿地方整備局、令和6年11月28日(木)国土交通省 港湾局、令和6年12月17日(火)国土交通省 近畿運輸局に対し実施した要望活動に引き続き、下記のとおり、海上保安庁大阪海上保安監部を訪問、当協会竹内会長より、宮本勝通監部長に要望書を提出し、要望内容の趣旨説明や意見交換を行いました。

【要望事項】

- ①深日港の航路標識の維持について
- ②体験航海のための巡視船派遣の継続

【要望先】

実施日 令和7年1月30日(木)
要望先 海上保安庁 大阪海上保安監部



宮本 勝通 大阪海上保安監部長

他港視察(静岡県清水港)を実施します！

(一社)大阪府港湾協会

(一社)大阪府港湾協会では、令和7年11月6日(木)～11月7日(金)の日程で静岡県清水港を視察します。当日は、港湾視察の他、静岡県港湾局港湾振興課からのレクチャーと意見交換、清水港新興津コンテナターミナル、はごろもフーズ株式会社新清水プラント、株式会社河合楽器製作所竜洋工場、静岡県浜松内陸コンテナ基地の見学を予定しています。

【令和7年度 他港視察概要】

- ◆ 日 程 令和7年11月6日(木)～11月7日(金)
- ◆ 視察場所 1日目：清水港新興津コンテナターミナル、はごろもフーズ株式会社新清水プラント
2日目：株式会社河合楽器製作所竜洋工場、静岡県浜松内陸コンテナ基地
- ◆ 行 程 ① 清水港新興津コンテナターミナル(静岡市清水区)
② はごろもフーズ株式会社新清水プラント(静岡市清水区)
③ 株式会社河合楽器製作所竜洋工場(静岡県磐田市)
④ 静岡県浜松内陸コンテナ基地(浜松市中央区)



堺旧港周辺における取組について

堺市 建築都市局 都心未来創造部 都心未来創造課

1. 堺旧港の現状・ポテンシャル

堺旧港は、鉄道駅である南海本線堺駅から徒歩圏内の堺都心部に位置するウォーターフロントとして、海を囲うように整備されたプロムナードによる美しい景観を有しています。また、江戸時代に形作られた港や町割りが現在のまちの骨格となっており、海から発展してきた都市である堺の原点ともいえる場所です。

今後、堺旧港が位置する南海本線堺駅周辺は、令和13年（2031年）に予定されている“なにわ筋線”の開業により新大阪駅とのアクセス性が向上するエリアです。

本市では、堺旧港が持つこれらの貴重な都市資源を活かし、居心地の良い海辺の交流空間を創出することで、多くの市民や来訪者が何度でも訪れたい魅力あるエリアの形成をめざしています。

2. 堺旧港の風景

堺旧港のプロムナードは、大阪府が平成7年度より高潮対策事業として護岸の嵩上げ工事に着手し、階段式の親水性護岸として整備しました。平成18年度に護岸南側が完成し、その後順次工事を進め、令和6年3月に全面供用開始しました。全長は約2km、水面の大きさは約9万㎡（甲子園約2個分）となります。



図1 現在の堺旧港の様子(令和6年12月撮影)

3. 堺旧港周辺の将来イメージ

現在、堺旧港周辺では堺市基本計画2025及び堺都心未来創造ビジョン等の各種計画において、堺の新たな都市魅力の源泉となるウォーターフロントとして、堺駅・堺旧港エリアの将来イメージを掲げており、“Mizube” Re-Design、“堺の歴史を紡いできた水辺から新たな魅力が生まれ国内外から人々が集うエリアへ”というコンセプトのもとに、堺の誇る歴史や伝統といった地域資源等の魅力を磨く、結ぶ、育てる取組を推進しています。



図2 堺旧港(左)・堺駅(右)の将来イメージ

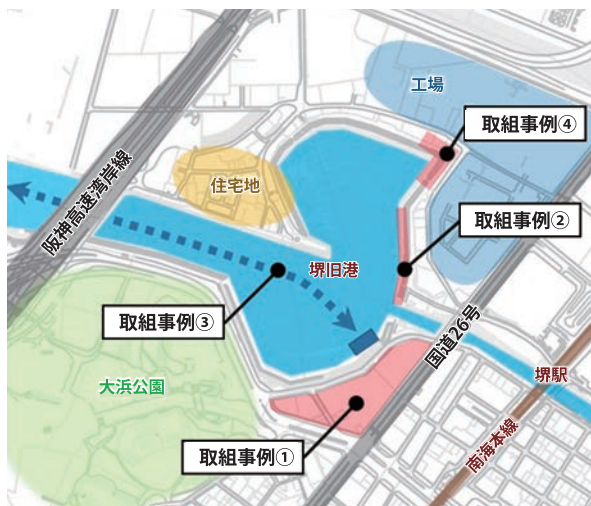


図3 堺旧港周辺の取組状況

4. 堺旧港における取組事例

(1) 大浜北町市有地活用事業

大浜北町市有地において、約1haの市有地を活用し、商業機能等の民間施設と海を眺望できる歩行者デッキ等の公共施設の整備運営を一体的に行う事業者を公募型プロポーザルにて募集し、賑わい・交流空間の創出を図るものです。平成29年に株式会社アゴーラ ホスピタリティグループを代表法人とする事業者と基本協定

を締結し、事業を進めてきました。宿泊施設、駐車場兼イベント広場、イルカ関連施設、飲食施設と、公共施設である歩行者デッキの整備が完了し、令和7年3月25日にアーバンリゾートタウン「ポルトマーレ」がオープンしました。

宿泊施設は、客室数が321室で、歩行者デッキに面した低層部にはシーサイドテラスと一体となったレストランが計画されています。駐車場は92台が収容可能となっており、堺旧港南側エリアの、宿泊、飲食等による堺旧港周辺の拠点性が向上し、新たな人の流れが期待されます。



図4 大浜北町市有地活用事業「ポルトマーレ」の様子

(2) 堺旧港イベント「乙姫の休日。」

堺旧港のプロムナードをレクリエーションの場として実験的に開放し、美しく整備された護岸や開放的な海辺を活かした交流空間の創出に向けたイベント「乙姫の休日。」を令和3年度から実施しています。護岸上に椅子やテーブル等のファニチャーを設置し、仮設店舗やキッチンカーの出店、音楽ライブやワークショップなどを実施しています。

来場者数は、回を重ねるごとに増えてきており、令和6年度は10月5日（土）・6日（日）の2日間の開催し、各日とも2,500人を超え全体で約6,000人の来場がありました。また、期間中は大阪港湾局が社会実験として堺旧港に設置した仮設栈橋を利用して民間事業者がツアーを実施するなど、大阪港湾局と連携して取組を進めています。



図5 令和6年度「乙姫の休日。」実施状況



図6 令和6年度海上交通社会実験実施状況

(3) 海上交通社会実験（大阪港湾局との連携）

堺旧港における海上交通社会実験は、大阪ベイエリアの交流機能の充実や活性化を目的として海辺を活かした誘客をめざすため、大阪港湾局と連携のもと堺旧港を拠点とした海上ネットワークの構築に向け、大阪港湾局と連携し海上交通社会実験を実施しています。令和5、6年度は「乙姫の休日」の開催日に合わせ、大阪港湾局が堺旧港南側に仮設栈橋を設置し、一般の方を対象としてクルーズと観光をセットにしたモニターツアーを実施しました。

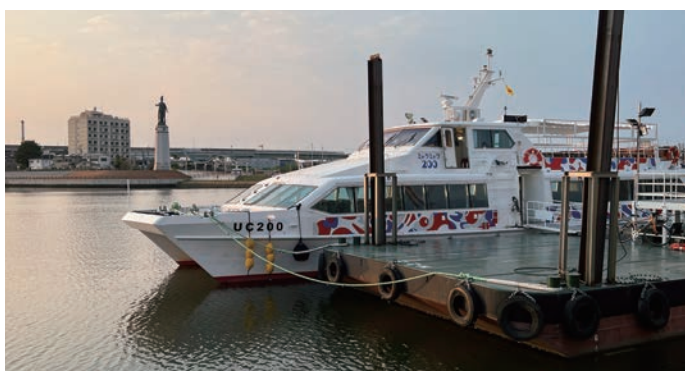


図7 堺旧港と夢洲をつなぐ海上交通

令和7年度は大阪・関西万博の開催期間中、堺旧港船着場を設置し、民間事業者によって堺旧港と万博会場である夢洲を結ぶ海上交通が定期航路として1日5便の運航が行われており、中世の時代に貿易港として栄え世界とつながっていた堺の港から再び世界の文化に触れる場へとつながることとなりました。

(4) 堺旧港交流空間創出事業

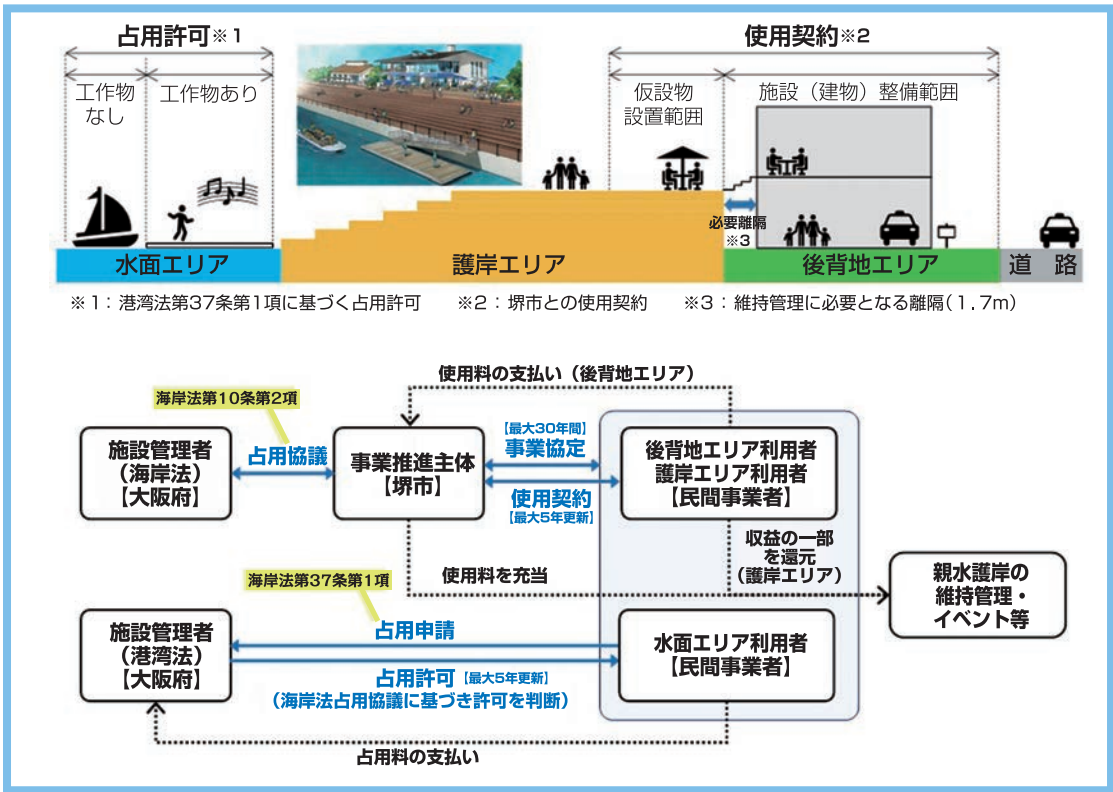


図8 事業スキーム概要

堺旧港北側エリアにおいて、これまで実施してきた社会実験等の取組を踏まえ、堺旧港に面する公共空間において施設の建築、護岸上への仮設物の設置、水面の活用を一体的に行い、居心地がよく多様な人々が交流する海辺の交流空間の創出をめざす事業です。本事業の実施に必要なエリア（水面を除く）を本市が占有し、占有区域について本市と民間事業者が事業協定及び使用契約書を締結した上で、民間事業者が交流施設等の設置及び管理運営を行います。事業期間は施設の建設期間を含めて最長30年、民間事業者による独立採算を前提とし、施設等の設置及び管理運営を一貫して行う民間事業者を公募型プロポーザル方式により令和6年度に公募を行い、令和7年2月に株式会社 RETOWN が優先交渉権者として選ばれました。カフェや常設の屋台村、BBQ 場を設置し、護岸上をテラス席やイベントの定期的な開催の場として利用するほか、水面も一体的に活用した交流空間の創出に向けて取組を進めています。



図9 堺旧港交流空間創出事業実施イメージ

〇まとめ

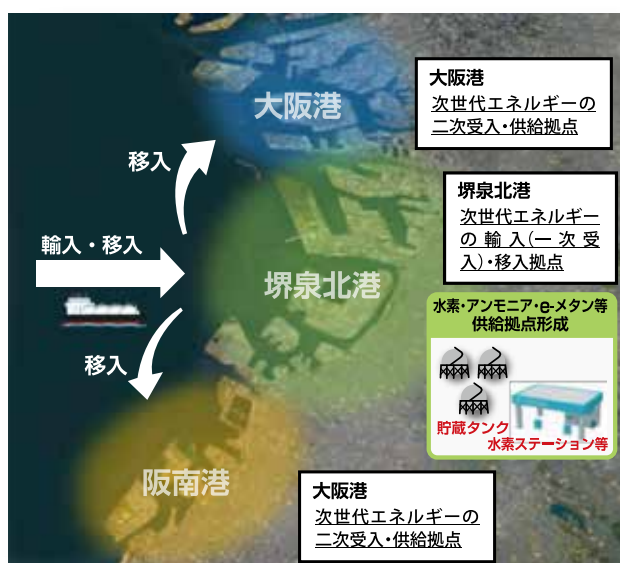
このように、大阪ベイエリア全体の活性化に向け、堺旧港のポテンシャルを活かした“みがく”取組と、それらを海上交通により“つなぐ”取組を、大阪府との連携のもと進めています。今年3月にオープンした大浜北町市有地事業や令和8年3月の施設開業を目指している堺旧港交流空間創出事業、護岸を活用したイベント「乙姫の休日。」、そして堺旧港と万博会場をつなぐ定期航路の実現など、これまでの取組の成果が着実に表れてきています。

今後も堺旧港のポテンシャルを活かした取組を一体的に推進し、堺旧港周辺エリアの魅力創出に向け、取組を進めていきます。

大阪“みなと”(大阪港・堺泉北港・阪南港)のCNP形成戦略の立案について

大阪港湾局 計画整備部 計画課計画調整担当

大阪港湾局では、水素、アンモニア、e-メタン等の次世代エネルギー利活用の需要と供給体制を一体的に創出するとともに、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や臨海部における環境に配慮することにより、カーボンニュートラルポート（以下、「CNP」と記載）を形成し、国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現に貢献するとともに、国際競争力を高め世界に選ばれる港をめざしています。そこで、令和6年3月に大阪港・堺泉北港・阪南港の3港が大阪“みなと”として連携し、脱炭素化の取組を進めるため、港湾法第五十条の二に基づき「大阪港・堺泉北港・阪南港港湾脱炭素化推進計画（以下、「推進計画」と記載）」を策定しました。（令和7年3月変更）



次世代エネルギー拠点化 3港連携イメージ

一方で、推進計画に位置付けている脱炭素に資する取組だけでは、大阪“みなと”における2013年度のCO₂総排出量799万トンに対し、CO₂削減率は約8%に留まっており、目標の達成に向けては大きな課題（ギャップ）があると認識しています。

その課題を解消するには、原因の分析・把握、具体的な対策の検討が必要と考えており、具体的には、国内外におけるCNP形成に関する先進事例の収集や、事業者へのヒアリング等を行い、それを通じて港湾ターミナル内外での脱炭素化にかかる課題の抽出と分析を現在行っています。最終的には現状と目標値とのギャップを解消するための戦略を今年度中に立案する予定です。

【推進計画における現状及び削減量】

項 目	合 計
①:CO ₂ 排出量(2013年度)	7,990千トン
②:CO ₂ 排出量(2021年度)	7,465千トン
③:2021年度からのCO ₂ 削減量	86千トン
④:2013年度からのCO ₂ 削減量(①－②+③)	611千トン
⑤:削減率(④/①)	7.6%

表1:大阪“みなと”におけるCO₂排出量の削減効果

(参考):大阪“みなと”カーボンニュートラルポート(CNP)形成事業 HP

https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/osaka_minato_cnp/index.html

カナデビアグループのカーボンニュートラルへの取組みと大阪・関西万博

カナデビア株式会社堺工場

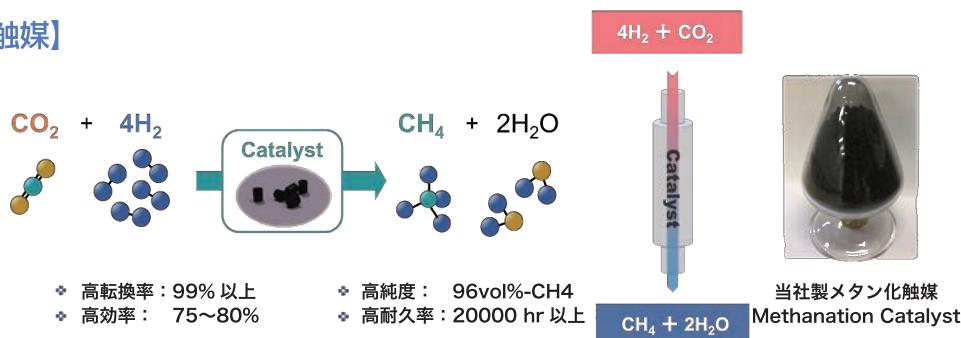
○カナデビアのカーボンニュートラルへの取組み

カナデビアグループは、「技術の力で、人類と自然の調和に挑む」というブランドコンセプトの下、サステナブルな社会の実現に取り組んでいます。当社グループは祖業である造船の技術を基盤として、様々な分野で新たな事業を開拓し、事業ポートフォリオを変革してきました。時代とともに変化する社会問題の解決に挑戦し続けることで、社会に役立つ価値の創造を目指しています。

近年、地球温暖化への関心が高まり、国際的な規制が強化される中で、カーボンニュートラル事業にも参画しています。この分野では既存の技術と事業経験を活かしながら、より環境に優しい技術開発を進めています。

その中の一つ、CO₂と水素を原料としてメタンガスを生成できるメタネーション技術を紹介します。

【メタネーション触媒】



様々な排出源から回収した CO₂ を再生可能エネルギーから製造した水素 (H₂) と触媒反応させることでメタン燃料 (e-メタン) に変換します。合成したメタンガスは天然ガスの主成分であるため、従来の天然ガスインフラを用いて輸送・貯蔵・利用することができます。また、メタン燃焼により発生する CO₂ を回収し、再度メタン化することで炭素循環利用を実現します。

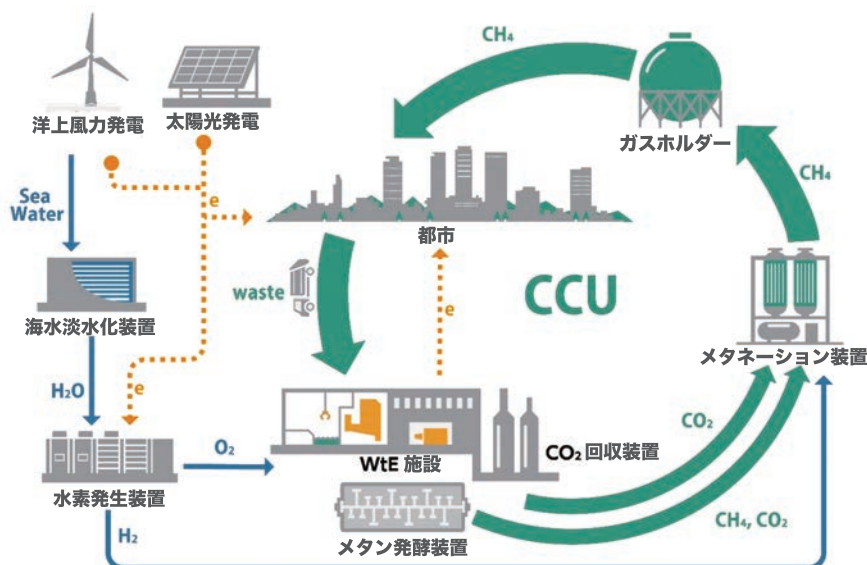
【メタネーションによる炭素循環】



当社は2024年11月、アゼルバイジャン共和国の首都バクーで開催された国連気候変動枠組条約第29回締約国会議 (COP29) の「ジャパン・パビリオン」に出展し、「革新的な廃棄物処理システムで実現する循環経済と GHG 排出ネット・ゼロ」をテーマとして、CO₂ の高効率回収を実現する廃棄物燃焼技術の中核としたシステム・パッケージを提案しました。このシステム・パッケージは、廃棄物由来の電力や再生可能エネルギー、さらには海水淡水化によって得られた水を利用する水電解技術を活用し、海水から酸素とクリーン水素を製造し、製造した酸素を廃棄物燃焼に活用すると共に、水素は効率的に回収した CO₂ とのメタネーション反応により e-メタンへと変換することで、化石燃料の代替資源として循環利用が可能となります。

また、当社が有する WtE 施設、風力発電、海水淡水化、水電解、メタネーションという技術を、現在開発中および社会実装を進めている技術も含めてパッケージとしており、将来に目指すべき脱炭素に向けた廃棄物処理システム全体のあり方の1つを示しています。

【当社が目指す循環経済と GHG 排出ネット・ゼロを可能とする廃棄物処理システム】



※GHG：Greenhouse Gas（温室効果ガス）

※WtE：Waste to Energy（ごみ焼却発電）

※CCU：Carbon dioxide Capture and Utilisation（二酸化炭素の分離回収と有効利用）

○大阪・関西万博への出展

当社は、2025年4月13日に開幕した「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の「未来の都市」パビリオンに参画しており、当社展示プレイスもオープンしました。

また、その他にも、資源循環や脱炭素に資する当社製品・技術を通じて大阪・関西万博に関わっていますので、ご紹介いたします。

1. 「未来の都市」パビリオン

「未来の都市」は、当社を含む12の企業と団体が Society 5.0 の未来社会を描いたパビリオンで、当社は、人と地球のつながりを体現するベースとして世界樹を設定し、「環境・エネルギー」分野を学ぶことができる体験コンテンツを提供しています。

当社展示プレイスのアテンダントは、全国各地の当社拠点から募った64名の社員も参加しており、当社はこの展示を通じ、来場者一人ひとりが資源循環やカーボンニュートラルという視点を日常の行動基準に取り入れ、技術の変革だけが社会を変えるのではなく、一人ひとりの意識改革や行動の変容との協調により、社会課題の解決につながるのだという想いを共有したいと考えております。



2. 日本政府館（日本館）向けバイオガス発電プラント

経済産業省が出展する日本館には、当社が設計・施工したバイオガス発電プラントが併設されており、会場で発生した生ごみを原料としたバイオガスによって発電を行っています。バイオガス化の過程で発生する発酵液は水処理され、日本館内で展示されている「水盤」の水に利用されています。見学ツアーも実施しており、通常では見ることができないプラント内を設計者のガイド付きでご覧いただきながら、微生物がごみを分解・発酵させる仕組みなどを学ぶことができます。



日本館に併設されるバイオガスプラント

3. 大阪ガス株式会社（大阪ガス）向けサバティエ反応メタネーション装置・水電解装置

大阪ガス株式会社は、環境省委託事業の「既存のインフラを活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築実証事業」のもと、合成メタン（e-メタン）製造実証設備「化ける LABO（ラボ）」をカーボンリサイクルファクトリー内で竣工させています。当社は、「化ける LABO（ラボ）」の構成機器であるサバティエ反応メタネーション装置（e-メタン製造能力：約 5 N m³/h）と水電解装置（水素製造能力：20 N m³/h）を大阪ガス向けに納入しました。なお、サバティエ反応※に必要な二酸化炭素（CO₂）の一部は、2 項のバイオガス発電プラントから発生する二酸化炭素を回収して供給されます。



実証設備全景（提供：大阪ガス）

※サバティエ反応：科学者ポール・サバティエが1911年に発見した化学反応で、二酸化炭素と水素からメタンを合成する技術。

4. 関西電力株式会社向け水電解装置

関西電力株式会社は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が公募する「グリーンイノベーション基金事業／大規模水素サプライチェーンの構築 プロジェクト」に「既設火力発電所を活用した水素混焼 / 専焼発電実証」として採択を受け、大阪・関西万博の期間中、水素混焼発電実証を実施しています。同実証では、水素発電の社会実装に資する運用技術の確立を目指すため、同社の姫路第二発電所に設置されているガスタービン発電設備を活用した水素混焼発電実証を行い、信頼性・安全性等の検証が行われます。当社は、同実証向けに水電解装置を納めており、水素製造量は当社として過去最大となる 600 N m³/h で、国内でも最大級のものです。



当社納入の水電解装置（提供：関西電力）

5. 大阪・関西万博の Co-Design Challenge（CDC）プログラム

当社は、大栄環境株式会社と株式会社大栄環境総研と共に Co-Design Challenge（CDC）プログラムにおいて「資源循環に貢献したくなるスマート回収箱とスマートフォンアプリ」をテーマとして採択されています。本取り組みでは、当社が資源循環を楽しく学ぶことのできる Web アプリの開発を行い、大栄環境と大栄環境総研が、大阪・関西万博のシグネチャーゾーンのフードトラックで提供される生分解性プラスチック製の資源（食器）を回収するスマート回収箱の開発を担当しています。

Web アプリのタイトルは「しまじろうと SDGs を考える。」で、スマートフォンを用いて楽しみながら資源循環について学ぶことを目的としており、主に小学生以下とその保護者を対象としていることから、株式会社ベネッセコーポレーションが提供する、幼児の教育・成長支援ブランド「こどもちゃれんじ」のキャラクターで、人気のある「しまじろう」や「みみりん」「とりっぴい」「にゃっきい」とコラボレーションしています。



©Benesse Corporation 1988-2025/しまじろう



Web アプリはこちら

令和6年度フィリピンプロモーション

大阪港湾局 計画整備部 振興課利用促進担当

大阪港湾局では、堺泉北港（公共ふ頭）のコンテナ貨物取扱量の増加をめざして、様々な取組を行っています。

今年度は、2月12日（水）から15日（土）の日程で、国際フィーダー定期航路による堺泉北港とのコンテナ貨物の取扱量が近年増加しているフィリピンを訪問し、堅調な貨物量を今後もキープし、またさらなる取扱量の増加に繋げるべく、現地でポートセールスを行いました。

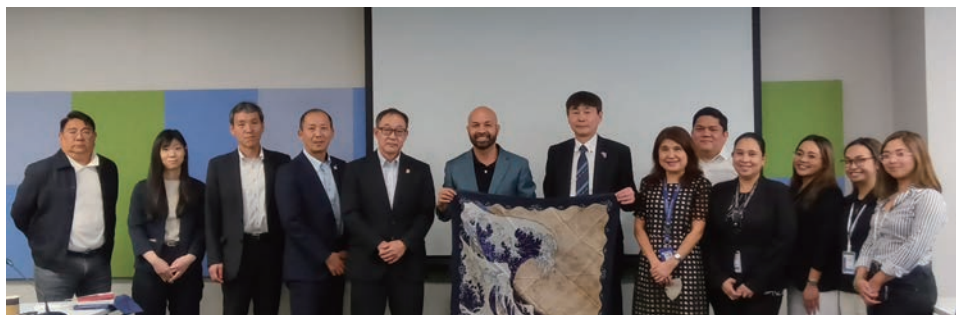
まず12日（水）の午後、国内情勢や経済状況等について情報収集を行うためジェトロ・マニラ事務所を訪問し、現地アドバイザーからマニラ港周辺の交通事情や日本メーカーの進出状況などのブリーフィングを受け、翌日から予定している船会社や荷主への訪問に備えました。



ジェトロ・マニラ事務所集合写真

翌日の13日（木）には、堺泉北港から神戸港の国際フィーダー定期航路を利用する船会社のフィリピン支社を訪見し、利用拡大に向けた堺泉北港のPR及び意見交換を行いました。堺泉北港のPRでは、助松コンテナ

ターミナルから搬出されたコンテナが目的地の倉庫まで渋滞なく輸送される状況を動画を用いて効果的に紹介することで、堺泉北港周辺の良好なアクセスについて好印象を与えることができました。



フィリピン港湾公社集合写真

午後からは、令和3年3月に大阪港湾局とMOUを締結したフィリピン港湾公社を訪見し、同公社のゼネラルマネージャーを補佐するアシスタントゼネラルマネージャーと意見交換を行うなど、堺泉北港や大阪港の特徴や優位性のPRに努めました。ゼネラルマネージャーはフィリピン港湾公社の取締役会において、議長となる運輸長官に次ぐ副議長を務めるフィリピン国内でも著名な人物であるとのことで、我々の訪問に対して手厚い歓迎で応えていただきました。意見交換の後にはマニラ港のコンテナターミナルまで移動し、普段は関係者しか立ち入ることの出来ないソーラスゲート内の荷役状況を視察することができました。



フィリピン港湾公社会議中

セールス最終日となる14日（金）には、マニラ港を利用して堺泉北港までコンテナ貨物の輸出を行っている大手荷主がマニラで運営している現地工場を訪見し、物流担当者とフィリピンや日本の物流事情に関する意見交換等を行いました。午後からは製造責任者の案内により工場内の視察を行い、輸出品の製造手順やコンテナ貨物の輸送規模を把握することができました。

今回の訪問により、まだまだ同国においてコンテナ取扱貨物量の伸びしろがあることが確認でき、また併せて各関係先とも前向きな協力関係を構築することが出来ました。今後も引き続き各関係先との協力関係を継続し、府市一体となって大阪「みなと」の利用促進に寄与できるよう、大阪港湾局としてしっかりと取組を進めてまいります。



車内からマニラ港視察の様子

令和6年度堺泉北港地元港湾振興会合同研修会を開催しました

泉大津港湾振興会

泉大津港湾振興会、堺港湾振興会、高石港湾振興会の3港湾振興会では、令和7年2月3日（月）に「堺泉北港地元港湾振興会合同研修会」を開催しました。

当日は15時30分より関空泉大津ワシントンホテル2階「シンフォニー」において開催され、76人の参加がありました。

本研修会では、講師に復建調査設計株式会社の加藤博敏氏をお迎えし、「ドライバーの2024年問題と堺泉北港 ～国内長距離輸送のハブとしての期待～」をテーマに専門的な視点によるご講演をいただきました。講演では、2024年に顕在化するドライバー不足の影響や、それに伴う物流業界の変化についての詳しい解説、また、堺泉北港がフェリー・RORO船航路のハブ港として果たす役割や、その重要性について語られました。

質疑応答の時間では、参加者から活発な質問があり、特に堺泉北港の今後の展望についての質問が多く寄せられました。研修会の後には加藤氏も交わって懇親会が開催され、参加者が最新の情報を共有して意見交換を行う貴重な機会となりました。このような事業を通じて、参加者は新たな知見を得るとともに、今後の業務に活かすためのヒントを得ることができたと感じています。

今後もこのような研修会を通じて、地域の発展や業界の課題解決に向けた取組みを進めてまいります。

◆開催日：令和7年2月3日（月）15時30分～

◆会場：関空泉大津ワシントンホテル 2階「シンフォニー」

◆参加人数：76人

◆内容：○開会挨拶

泉大津港湾振興会 会長 南出賢一（泉大津市長）

○来賓挨拶

近畿運輸局 次長 池田哲郎氏

○講演会

「ドライバーの2024年問題と堺泉北港 ～国内長距離輸送のハブとしての期待～」

講師：復建調査設計株式会社 執行役員 企画開発本部 技師長 加藤博敏氏

○懇親会

会場：同ホテル20階「マンハッタンスカイ」



開会あいさつ
泉大津港湾振興会 会長 南出賢一（泉大津市長）



復建調査設計株式会社 執行役員 企画開発本部
技師長 加藤博敏氏



来賓あいさつ 近畿運輸局 次長 池田哲郎氏



研修会会場の様子

泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会の取組みについて

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課総務振興／事業企画・防災課地域調整担当

大阪港湾局、泉大津市、泉大津商工会議所、大阪湾広域臨海環境整備センター、堺泉北埠頭株式会社で構成する「泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会」では、野外コンサートをはじめ各種イベントの開催サポートや、「泉大津フェニックス」のPR活動等に取り組んでいます。

【野外コンサートについて】

泉大津フェニックスにおいて、令和6年10月に野外コンサートが開催されました！

本委員会では、イベント当日にはブースを設置し、泉大津フェニックスに関するクイズやパネル展示を行い、オリジナルタオルを配布するなど泉大津フェニックスのPR活動を実施しました。

また、会場周辺の動線整備や事業者様への情報発信を行い、イベントの実施が事業者様の妨げとならないよう、安全面に配慮した環境づくり等に取り組みました。さらに、準備期間から開催当



ブースの様子

日までイベント主催者や各関係者との調整、会場整備などに取り組むことで、より円滑な開催が実現されるよう各方面のサポートを行いました。

引き続き、泉大津フェニックスの知名度向上・にぎわい創出に向けた取組みを進めて参ります。

水際のテロ対策強化への協力依頼

大阪税関 堺税関支署



テロ警戒中!!

大阪・関西万博の安全・安心な開催を実現するため水際対策を強化しています

不正薬物、銃器、金及びテロ関連物資等の密輸阻止のため、税関検査や情報提供などにご協力ください。

密輸に関する情報などあれば、密輸ダイヤルに通報を！

密輸ダイヤル(24時間受付)

0120-461-961(0120シロイ・クロイ)

密輸情報提供サイトもご利用できます。

<http://www.customs.go.jp/mizugawa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>



©Expo 2025



大阪税関

堺 税 関 支 署

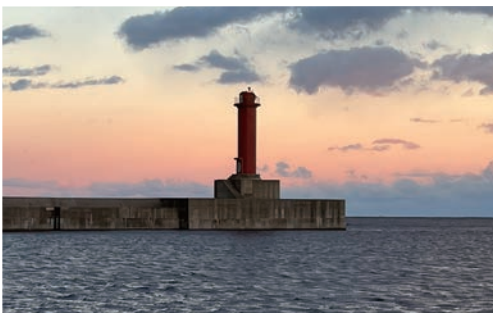
岩手県へポートセールスを行いました～堺泉北港をPR～

堺泉北埠頭株式会社

堺泉北埠頭株式会社では、令和6年12月4日（水）から3日間、当社竹内顧問（大阪府港湾協会会長兼当社顧問）はじめ計3名で、岩手県内の重要港湾・釜石港の視察、「釜石港コンテナ航路セミナー2024 in 花巻」出席、及び岩手県内の企業訪問を行い、港湾関係者や岩手県内各企業の物流担当者に堺泉北港のPR等、行ってまいりました。



平成30年より堺泉北港と友好港提携が締結された釜石港に、大阪府から東日本大震災の復興支援として無償譲渡された大型コンテナの運搬用クレーン「ガントリークレーン」を視察しました。現地において、国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所長より、岩手県下の重要港湾4港の整備事業の進捗と説明を頂くとともに、岩手県港湾空港課より釜石港の説明を頂き、「平成29年に無償譲渡いただいたガントリークレーンの供用に加え、復興道路・復興支援道路の全線開通により物流機能が大幅に向上した結果、令和4年のコンテナ取扱量は、平成23年に比べ約3.4倍と大幅に増加し、復興に大きく寄与した。」とのことでした。釜石港内を船上から、着岸するコンテナ船とガントリークレーン、ギネス認定された釜石港湾口防波堤（世界で一番深い防波堤63M）の視察を行いました。



また、岩手県県土整備部・沿岸広域振興局土木部を訪問し、岩手県の「2024年問題に関連し、国内 RORO とフェリーの充実化を図りたい。堺泉北港は両航路が寄港する港であり、船社誘致をはじめ2024年問題に直面している事業者などの情報を共有し、釜石港等の活性化を図りたい。」との主旨で、岩手県下の港湾の現状や今後両港の連携に向け、意見交換をおこないました。



12月5日（木）に岩手県花巻市内で開催された、「釜石港コンテナ航路セミナー2024 in 花巻」に出席しました。第1部のセミナーでは、釜石港と世界を結ぶ OOCL 国際フィーダーサービスの紹介や、製品輸出における釜石港の活用事例、東北港湾を取り巻く情勢等のプレゼンテーションがありました。第2部の交流会では、岩手県内企業や港湾関係の各担当者と意見交換をおこない、堺泉北港のPRをおこないました。



岩手県出張期間内、当港港湾管理者であります大阪港湾局と共同で、2社の企業訪問を実施し、堺泉北港と千葉港を結ぶ RORO 船航路の紹介や物流2024年問題はじめ各企業の物流諸課題等、意見交換をおこない、モーダルシフトや東北から関西への物流ルートとして、堺泉北港を利用いただくべくPRを行いました。今後とも更なる堺泉北港のPRに努めてまいりますので、当港御利用の皆様のご理解、ご協力のほどをよろしくお願い致します。

コンテナ荷役機器「ストラドルキャリア」新鋭機が稼働 ～堺泉北港「助松コンテナターミナル」～

堺泉北埠頭株式会社

弊社が運営する堺泉北港「助松コンテナターミナル」は、外航コンテナ航路として「東南アジア・上海」、「新港・濰坊・煙台・青島」への定期航路がそれぞれ週1便、内航フィーダー定期航路として、「堺泉北港～神戸港」が週1便、就航しております。

助松コンテナターミナルでは、ガントリークレーン2基（大阪府所有・13列対応）に加え、弊社にてストラドルキャリア4基を配備し、効率的な荷役作業と蔵置能力の向上を図ってきました。

しかしながら、稼働しているストラドルキャリアはいずれも中古機器で、物流を滞らせるリスクの軽減や機器の信頼性の向上を図るため、車齢が古い2基について新車への入れ替えを実施し、令和5年6月に5号機、令和7年2月に6号機が納車されたところです。

6号機は、電動式巻上げ装置を採用、燃料消費が旧型車比10%削減され、ランニングコストの低減や低炭素化が期待されます。新鋭機の機動性と積み上げ能力の高さを生かした保管スペースの有効活用により、コンテナ取扱量の増大を図ってまいります。

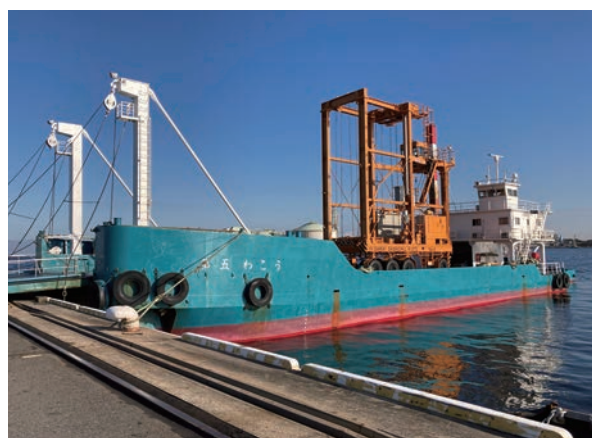
今後とも、堺泉北港の港湾運営会社として、利用者の皆様のお声にスピード感を持って対応し、さらなる利便性やサービスの向上に努め、港湾振興への貢献をめざしてまいります。



5号機(令和5年6月稼働)



6号機(令和7年2月稼働)



台船で搬入される6号機



タイヤを清酒で清め、安全祈願

令和6年 大阪府営港湾の港勢 (堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)速報値

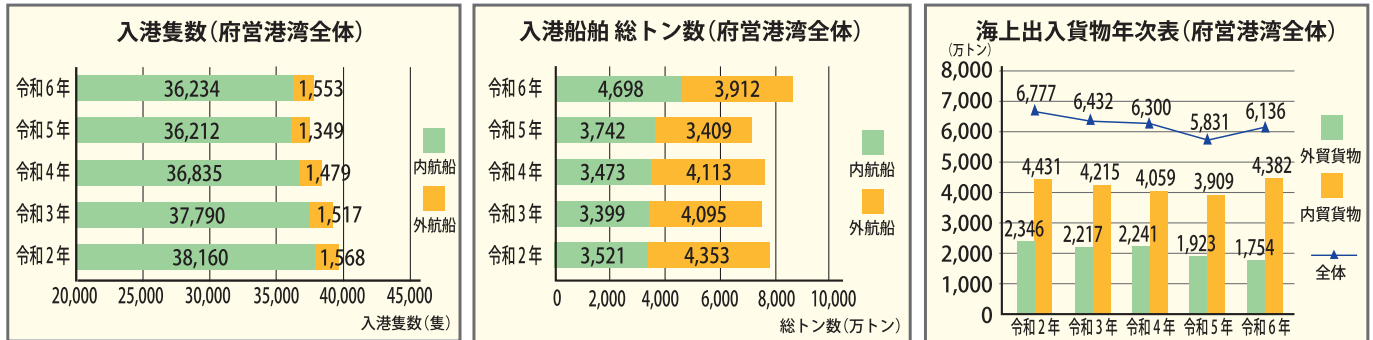
大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課総務振興

●府営港湾全体

大阪府が管理する8港湾のうち、港湾統計の対象である堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港の6港湾の港勢(令和6年1月～令和6年12月)をとりまとめました。

入港船舶数は、外航船が1,553隻、内航船が36,234隻で、合計37,787隻となり、総トン数は約8,611万トンでした。

取扱貨物量は、外貨が約1,754万トン、内貨が約4,382万トンで、合計約6,136万トンです。



※端数処理により合計値が合わないことがあります。

※端数処理により合計値が合わないことがあります。

●堺泉北港

◎全 体

入港船舶数は外航船が1,489隻、内航船が24,876隻で、合計26,365隻となり、総トン数は約8,243万トンでした。

取扱貨物量は外貨が約1,726万トン、内貨が約4,075万トンで、合計約5,800万トンです。

主要品種は、完成自動車(フェリー含む)、原油、LNG(液化天然ガス)、その他の石油、重油となっています。

◎公 共

主要品種は、外貨の輸出では完成自動車、金属くず、砂利・砂で、輸入が鋼材、木製品、その他日用品です。

内貨の移出では、鋼完成自動車(フェリー含む)、その他輸送機械で、移入は、完成自動車(フェリー含む)、鋼材、砂利・砂です。

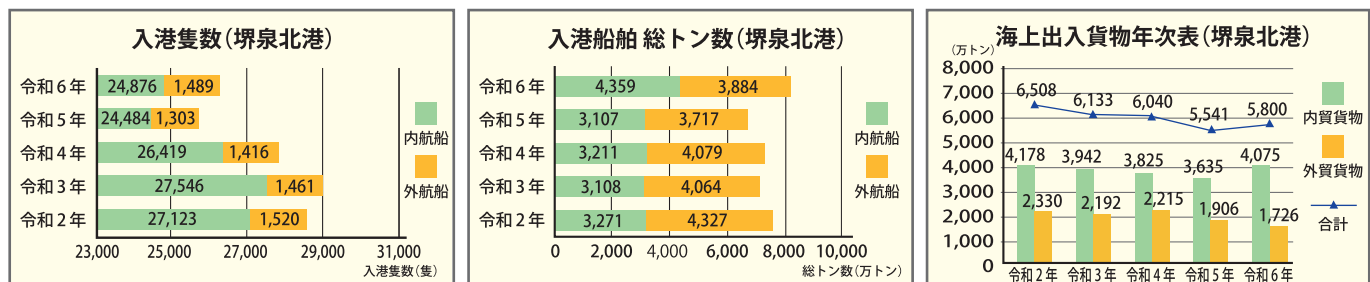
泉大津～新門司間のフェリーの乗降人員は乗込が約10万人、上陸が約10万人で合計約21万人が利用しています。

■ 堺泉北港(全体) 取扱品種上位ランキング(外貨)

順位	輸 出			輸 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	完 成 自 動 車	1,023	107.2	LNG(液化天然ガス)	5,806	95.3
2	化 学 薬 品	380	119.9	原 油	5,425	86.1
3	金 属 く ず	266	92.7	揮 発 油	986	60.7
4	鋼 材	228	68.2	鋼 材	918	204.2
5	砂 利 ・ 砂	83	383.0	LPG(液化石油ガス)	748	94.5

■ 堺泉北港(全体) 取扱品種上位ランキング(内貨)

順位	移 出			移 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	完 成 自 動 車	5,666	98.8	完 成 自 動 車	5,826	98.2
2	その他の石油	2,283	125.4	鋼 材	5,243	130.7
3	重 油	1,910	86.1	原 油	2,909	217.5
4	その他輸送機械	1,592	83.2	砂 利 ・ 砂	1,906	143.4
5	揮 発 油	1,436	101.2	セ メ ン ト	1,283	90.7



※端数処理により合計値が合わないことがあります。

※端数処理により合計値が合わないことがあります。

【堺泉北港 助松ふ頭コンテナターミナル】

大阪府営港湾ではコンテナ定期航路として、東南アジア・上海航路及び青島航路(各週1便)が就航しています。

■ 堺泉北港 外航コンテナ船 入港船舶数、取扱貨物量、コンテナ取扱個数 年次表

年次	外 航		取扱貨物量(トン)		取扱貨物量(TEU)	
	隻 数	総トン数(千トン)	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
R4	104	1,285	27,559	85,757	13,556	13,423
R5	99	1,383	20,633	65,775	9,967	10,081
R6	105	1,440	20,924	84,737	12,268	12,886
対前年比(%)	106.1	104.1	101.4	128.8	123	128

【堺泉北港 内航RORO船 取扱貨物量】

大阪府営港湾では内航RORO定期航路として、千葉・岡山・四国中央航路(上下各1便/日)及び宮崎・細島航路(3便/週)が就航しています。

■ 堺泉北港 内航RORO船 入港隻数、取扱貨物量 年次表

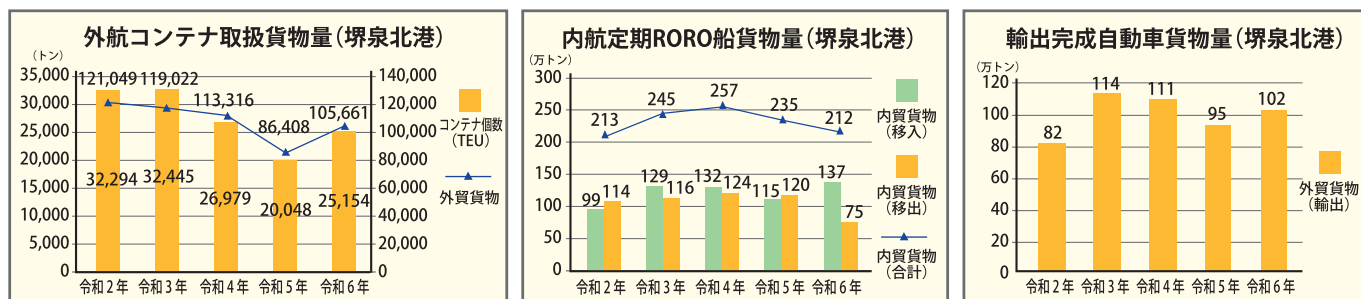
年次	隻 数	総トン数(千トン)	取扱貨物量(千トン)			
			移 出	対前年比(%)	移 入	対前年比(%)
R4	812	7,345	1,244	107.1	1,321	102.7
R5	746	6,806	1,204	96.8	1,145	86.7
R6	1047	10,051	746	60.0	1,371	119.8

【堺泉北港 輸出完成自動車貨物量 推移】

堺泉北港における完成自動車の輸出貨物量については約102万トンとなり、対前年比で7.2%増となりました。

■ 堺泉北港 輸出完成自動車 貨物量

年次	輸出貨物量(千トン)	対前年比(%)
R4	1,105	96.9
R5	946	85.7
R6	1,023	107.2



●阪南港

入港船舶数は、外航船が64隻、内航船が4,886隻で、合計4,950隻となり、総トン数は約223万トンでした。

取扱貨物量は、外貿が約28万トン、内貿約181万トンで、合計約209万トンです。

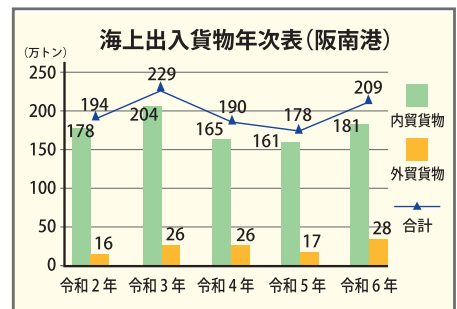
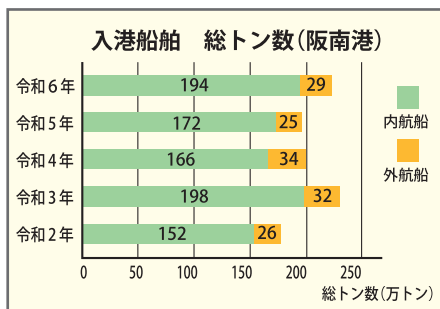
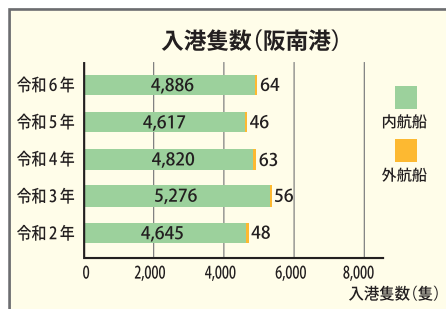
主要品種は、外貿が木材チップ、鋼材、非金属鉱物で、内貿が砂利・砂、その他の石油、非金属鉱物です。

■ 阪南港 取扱品種上位ランキング(外貿)

順位	輸 出			輸 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	鋼 材	39	108.0	木 材 チ ッ プ	200	180.3
2	—	—	—	鋼 材	33	202.1
3	—	—	—	非 金 属 鉱 物	4	37.8

■ 阪南港 取扱品種上位ランキング(内貿)

順位	移 出			移 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	砂 利 ・ 砂	21	45.4	砂 利 ・ 砂	968	138.7
2	木 材 チ ッ プ	17	127.7	その他の石油	259	64.4
3	再 利 用 資 材	14	112.8	非 金 属 鉱 物	174	117.3



※端数処理により合計値があわないことがあります。

※端数処理により合計値があわないことがあります。

●深日港

入港船舶数は302隻、すべて内航船です。総トン数は15,868トン、取扱貨物量は0トンでした。

●尾崎港・泉州港・泉佐野港

【尾崎港】

入港船舶数は1,200隻、すべて内航船です。総トン数は9,600トン、取扱貨物量は142トン(水産品)でした。

【泉州港】

入港船舶数は6,465隻、すべて内航船です。客船がほとんどで、6,224隻と全体の96.3%を占めています。また、平成29年7月より約1年間、関空～洲本間の航路が就航していました(現在休止中)。乗降人員は下記のとおりです。

総トン数は約144万トンです。取扱貨物量は126万トン(その他の石油)でした。

■ 泉州港 客船乗降人員(人)

航 路	令和5年			令和6年		
	乗 込	上 陸	合 計	乗 込	上 陸	合 計
関 空 ～ 神 戸	107,026	119,996	227,022	168,890	201,827	370,717
関 空 ～ 洲 本	—	—	—	—	—	—

※端数処理により合計値があわないことがあります。

【泉佐野港】

入港船舶数は65隻、すべて内航船です。総トン数は9,676トン、取扱貨物0トンでした。

●令和 6 年 港別入港船舶及び海上出入貨物状況

港名		入港船舶		取扱貨物量	取扱貨物量の内訳					
		隻数	総トン数		外 貿			内 貿		
					計	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入
		(隻)	(G/T)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)
堺泉北港	全 体	26,375	82,431,429	56,163,435	17,259,610	2,140,236	15,119,374	38,903,825	16,235,739	22,668,086
		(748)	(11,997,920)	(14,115,341)	0	0	0	(14,115,341)	(7,281,120)	(6,834,221)
	う ち 公 共	9,567	43,207,876	22,312,313	2,353,097	1,505,828	847,269	19,959,216	8,485,373	11,473,843
		(748)	(11,997,920)	(14,115,341)	0	0	0	(14,115,341)	(7,281,120)	(6,834,221)
阪南港	全 体	4,950	2,232,034	2,091,968	277,157	38,520	238,637	1,814,811	72,318	1,742,493
	う ち 公 共	4,677	1,884,032	1,726,843	277,157	38,520	238,637	1,449,686	72,302	1,377,384
深日港	全 体	302	1,568	0	0	0	0	0	0	0
	う ち 公 共	302	1,568	0	0	0	0	0	0	0
尾崎港	全 体	1,200	9,600	142	0	0	0	142	0	142
	う ち 公 共	1,200	9,600	142	0	0	0	142	0	142
泉州港	全 体	6,465	1,444,148	1,257,300	0	0	0	1,257,300	0	1,257,300
	う ち 公 共	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉佐野港	全 体	65	9,676	0	0	0	0	0	0	0
	う ち 公 共	65	9,676	0	0	0	0	0	0	0
合 計	全 体	39,357	86,128,455	59,512,845	17,536,767	2,178,756	15,358,011	41,976,078	16,308,057	25,668,021
		(748)	(11,997,920)	(14,115,341)	0	0	0	(14,115,341)	(7,281,120)	(6,834,221)
	う ち 公 共	15,811	45,112,752	24,039,298	2,630,254	1,544,348	1,085,906	21,409,044	8,557,675	12,851,369
		(748)	(11,997,920)	(14,115,341)	0	0	0	(14,115,341)	(7,281,120)	(6,834,221)

注：下段は内数公共。() 内は、フェリーを表す。

日本のエネルギー基盤を支える岩谷液化ガスターミナル ～堺LPG輸入ターミナル発 持続可能なエネルギー供給ネットワークの構築～

岩谷液化ガスターミナル株式会社

1. 岩谷液化ガスターミナル(株)堺 LPG 輸入ターミナルの概要

岩谷液化ガスターミナル株式会社（以下、ILT）は、岩谷産業株式会社の100%子会社として、1980年に堺LPG輸入ターミナルの稼働を開始しました。イワタニグループは全国に5か所のLPガス輸入拠点（一次基地）を有し、全国に100カ所以上ある二次基地（LPガスターミナル）・三次基地（充填所）



による供給ネットワークを通じて、全国約340万世帯へLPガスを供給しています。中でも、ILTは岩谷産業が持つ輸入拠点の中で唯一の100%子会社として、国内基地へのコースタルタンカー、ローリ、シリンダーや導管による出荷機能を備えたLPガスの一貫供給体制を整え、イワタニグループによる全国各地へのエネルギー供給の基盤を支える重要な役割を果たしています。

2. イワタニのLPガス事業の歴史

イワタニのLPガス事業は、岩谷産業が1953年に日本で初めて家庭用プロパンガスの全国販売を開始したことに始まります。当時、日本の家庭では炊事に薪を使用しており、これは主婦にとって大変な重労働でした。プロパンガスの普及は、こうした家庭の炊事を効率化し、主婦をかまどのススから解放する画期的なものでした。岩谷産業は、特約店との協力を通じて全国にLPガスを普及させ、地域社会に大きく貢献しました。



1964年には、東京オリンピックの聖火台の燃料としてマルキプロパンが使用され、プロパンガスが社会的に認知される象徴的な出来事となりました。この時期、岩谷産業はLPガスの普及に向けたさまざまな取り組みを行いました。例えば、プロパンガスの利便性を広めるために、全国各地でデモンストレーションを実施し、消費者に直接その利点を伝えました。



また、特約店との連携を強化し、地域ごとのニーズに応じたサービスを提供することで、LP ガスの利用を促進しました。このようにして、岩谷産業は日本国内において徐々に LP ガスの普及を進めてきました。そして、1980年には念願の輸入基地を堺に設け、産出国からの直接輸入を可能にし、産出国から国内の各家庭に至るまでの LP ガスの供給ネットワークを築き上げました。さらには、1987年には大分液化ガス共同備蓄へ事業参加、1994年には鹿島共同備蓄の創業を開始させるなど、全国各地に LP ガス基地やガスセンターの新設、拡充を進めています。

3. 堺 LPG 輸入ターミナルの機能と技術

堺 LPG 輸入ターミナルは、敷地面積約 5 万 5 0 0 0 m²で、貯蔵能力は 2 万トンの低温タンク 4 基と球形タンク 4 基を合わせた約 8 万 3 0 0 0 トンであり、年間受入量・出荷量は約 3 5 万 8 0 0 0 トンに達します。保安対策と環境保全対策には万全を期し、設備や制御システムはコンピューターで管理するなど、高度な機能



能を配備しています。また、最新技術を活用した安全性と業務効率の向上も図っています。例えば、タンクの高所などの目視が難しい箇所や災害時に人が近づきにくい場所での点検にドローンの導入を目指しています。ドローンはターミナル内でのルート設定を行うことで自動運転が可能となり、日常点検だけでなく災害時にも迅速に点検を行うことができます。サーモグラフィを搭載しているため、保冷配管類などの劣化状態等の点検に効率的な管理が可能です。ドローンによって収集されたデータを蓄積し、AI を活用することで、塗装の劣化やタンクのチョーキングを早期に発見することもできます。さらに、ILT は環境への配慮も欠かさず、排出ガスの削減やエネルギー効率の向上を目指した取り組みを進めています。このような取り組みも含め、持続可能な社会の実現に向けた貢献を目指しています。

4. 災害時にも安定した供給を目指す

LP ガスは、本年 2 月に閣議決定された第 7 次エネルギー基本計画においても、「約 4 割の家庭に供給され、備蓄体制も整備されており、可搬かつ貯蔵が容易で品質劣化のない分散型エネルギー」とされています。特に災害時には、「病院等の電源や避難所等の生活環境向上にも資する『最後の砦』としても重要なエネルギー源である」と高く評価されています。イワタニグループにおいても、1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに、LP ガス販売店と連携し、LP ガスの復旧支援等、災害時の相互支援を目的とする「MaruiGas 災害救援隊」を組織しています。これまで 33 回出動し、隊員数も現在では 3 6 0 0 名以上を数え、地域社会における信頼を築いています。ILT は、このようなイワタニグループの LP ガスの国内供給の根本を担う事業者として、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害への備えを強化しています。想定される浸水規模に対応するため、具体的な対策指針を策定し、定期的な訓練を行っています。また、周辺企業と連携し、大型タンカーの緊急離れ通信訓練を実施するなど、施設の防災性能を向上させています。これにより、災害時にも安全で安定した供給を確保することを目指しています。

5. カーボンニュートラル社会の実現に向けて

ILTの企業理念は、「世の中に必要な人間となれ、世の中に必要なものこそ栄える」という岩谷産業の社是に基づいています。分散型で災害に強い LP ガスは、自然の脅威にさらされることの多い日本において、まさに広く世の中から必要とされるエネルギーです。また、LP ガスは化石燃料の中でも温室効果ガス排出が少ない燃料であり、LP ガスの供給により、世の中の CO2 排出量の削減に貢献することもできます。伊ワタニグループを含め、LP ガス業界全体では、従来の LP ガスにカーボンクレジットを付加して、燃料時に排出される CO2



を実質ゼロにしたカーボンオフセット LP ガスの普及促進や、さらにはバイオ LP ガスや合成 LP ガスなど、化石燃料によらないグリーン LP ガスの大量生産に向けた革新的触媒等の技術開発や生産プロセスの実証が進められています。

ILT は、このように災害に強く環境性を持ち合わせ、さらに技術革新が進められる LP ガスの国内供給の重要拠点として、今後も、持続可能な社会の実現に貢献することを目指して行きます。

【大阪・関西万博では水素燃料電池船を運航！】

堺 LPG 輸入ターミナルを核にして、産ガス国から国内に至るまでの LP ガスのサプライチェーンを築き上げた岩谷産業。現在は、クリーンエネルギーとして注目される水素のサプライチェーンの構築に努めています。大阪・関西万博では国内初となる内燃機関を持たない水素燃料電池船「まほろば」を「動くパビリオン」として大阪市内から万博会場のある夢洲へ運航。皆さまも一度、ぜひ乗船してみてください。



まほろば予約サイトはこちら ▶

上組の起源。～今、これから 上へ上へ

株式会社上組大阪支店

はじめに

神戸開港150年を迎えた2017年、時を同じくして、上組も創業150年を迎えました。

150年の長きにわたり事業を続けることができたのは、お客様をはじめとする多くの方々の格別のご愛顧、ご支援の賜物です。心より御礼申し上げます。

創業以来培ってきた物流ノウハウと技術を武器に、高品質で付加価値の高い物流サービスの提供に邁進し、港を通じ日本の暮らしと産業に貢献し続けていきます。

1867

創業1867年、150年以上の歴史

1867（慶応3）年、神戸開港の年に上組は創業し、神戸港と共に事業成長してきました。現在まで150年以上、常に時代の風を読み、その活躍の舞台を広げ、業界初の神戸・東京での単独運営のコンテナターミナルなど豊富な港湾インフラを保有。国内6大港でトップクラスのシェアを誇っています。



創業の産声、兵庫港（現在の神戸港）とともに

長く続いた江戸時代の鎖国政策が解け、安政の5か国条約に基づき、1867（慶応3）年、兵庫港（現在の神戸港）が開港されるとともに、上組の前進である「神戸浜仲」が誕生しました。外国人交易を統率する拠点として荷物運上所（現在の税関）が政府により設置され、御用常人夫（専属の荷物運搬団体）に指定され、同所出入りの荷物運搬を命じられました。この神戸浜仲が上組の起源であり、当社は、この時に創業の産声をあげました。

兵庫港が次第に発展するにつれて運搬荷役などの作業場が広がってきたため、1873（明治6）年に神戸浜仲が二つに分かれ、業務分野と内容により、さらに浜仲と岡仲とに分割し、浜仲は港での運搬を、岡仲は米、薪炭などの陸上運搬をそれぞれ専業とすることにしました。当社は、荷物運上所の上方（＝東部）に寄場をつくって仕事をしたため、上方の組、すなわち、上組浜仲と改称しました。これが、上組の社名の起こりです。

当時の作業は、ほとんどすべてが人力に依存していました。水揚げは肩で担ぎ、大八車での運搬も肩引き、手押しで行われ、この状況はその後も長く続きました。

上組は、時代の変化とともに神戸港と共に成長し、日本の近代物流の礎を築きました。



神戸本店社屋

上組の事業展開、今

【輸入・青果部門】

日本各地の港湾に拠点を網羅し、国内どこでもお客様の輸入貨物に対応します。通関手続きや保管・配送業務だけでなく、ニーズに応じて、検品・流通加工などの高付加価値サービスもご提案。倉庫・サイロも多数保有し、貨物の特性に合わせた最適な設備で品質を管理。また、古くは「バナナの上組」と呼ばれたように、青果物の取扱いでは、歴史に裏付けされた高い技術、知見を誇ります。

【港運部門】

東京・神戸の自社単独運営ターミナルをはじめ、国内主要港でターミナル業務を行っています。効率的なターミナル・オペレーションを提供しています。



南港C-8ターミナル

【重量・エネルギー・建設機工部門】

大型プラントなどの超重量物を、輸送から据付・保守までトータルサポートしています。

また、火力発電所の原料荷役や原子力発電所の燃料輸送など、日本のエネルギー産業を陰から支えています。

【鉄鋼・構内部門】

お客様の製鉄所で、本船からの原料受入、原料ヤードから各生産・加工工程への運送、製品の在庫管理、出荷にいたるまでのフローをトータルでお手伝いし、安全確保と生産性の向上に貢献しています。

【国際物流部門】

陸・海・空の輸送モードを組み合わせ、ニーズに応じた国際複合一貫輸送を提供しています。

グループ会社を含めた輸送ネットワークを活用し、貨物の特性に応じて海上・航空輸送のモードを選択し、輸出手続きのサポートを含め、国内の集荷から輸出先での現地輸送まで、国際複合一貫輸送をトータルでサポートしています。

【海外部門】

1970年代におけるインドネシア進出を皮切りに、中国や東南アジア各地に現地法人を設置。現地での輸出入・倉庫保管・配送業務まで、日本と変わらない上組品質の物流サービスを提供しています。中東や南米への拠点網を広げ、激変する物流のグローバル・ニーズに対応しています。

【不動産・その他の事業部門】

賃貸マンション建設や太陽光発電事業などを行っています。2010年には酒造会社をグループに迎え、焼酎の製造・販売や外食産業の展開。また、農産物の生産・販売にも参入するなど、上組の新たな成長の柱となる事業の可能性を、物流事業の枠を超えて模索しています。

大阪築港出張所の開設

1909（明治42）年、大阪に築港出張所を開設し、当社は、初めて神戸以外の地に進出しました。



大阪支店旧社屋



大阪支店新社屋と賃貸マンション

その当時、神戸港で揚げ積みされた貨物が、毎日多数のはしけを仕立てて大阪へ回送されていました。その貨物の荷捌きのために設置されました。

1925（大正14）年11月には、株杉村倉庫様の荷役を全面的に請け負う契約がまとまり、同社の専属業者を吸収して大阪支店を設置しました。

大阪港における事業概要

大阪港に於きましては、港湾運送事業の主たるターミナル運営を、C-8、KF、DICTで行っております。また、重量物から雑貨まで多種多様な輸入・輸出貨物「鉄板、合金鉄、線材、電化製品、食糧関係（米・大豆・ごま・香辛料・モルト）、アパレル、家具、日用品の雑貨関係など」の取扱い・作業を自社施設を活用し入出庫保管業務を行っております。

昨年2024（令和6）年4月には「南港R定温倉庫」が竣工いたしました。大阪府内3地区（南港、泉大津、りんくう）に定温倉庫を保有しておりますが、近年食品・穀物等の定温倉庫の増加は著しく、今後も需要は益々拡大が見込まれることから、需要に確実に対応し、かつ安定的なサービスを行うべく、平屋建ての常温倉庫から5階建ての全室定温倉庫に建て替えたことで保管貨物の総量および取り扱える貨物や種類が大幅



南港R定温倉庫

に増加し、3地区で保管しきれなかった貨物の対応が可能となりました。また同倉庫は大阪港の中核に位置し、主要コンテナターミナルや阪神高速道路湾岸線のインターチェンジに近接するなど、非常に利便性の高い立地にあり、これらの強みを生かし、顧客ニーズに即した質の高いサービスを提供しております。また、屋上の一面に太陽光パネルを敷設し、施設内の使用電力の一部を補う環境に配慮した施設としております。

堺泉北港・阪南港における事業概要

堺泉北港、阪南港に於きましては、1959（昭和34）年5月堺大浜埠頭所在地に堺出張所を設置し、大浜・泉北での倉庫入出庫・本船荷役作業、堺市・高石市工場構内での船積み作業などを行ってまいりました。

1974（昭和49）年10月に堺泉北埠頭様へ堺青果センターを借り受け、同時に同センター内に堺出張所を移転し、青果物の取扱いを開始しました。阪神高速道路（湾岸線、大和川線、堺線）、国道26号線、大阪臨海線、中央環状線などに近接した好立地を活かし、現在、西日本における輸入青果物集配基地の機能を担っています。シトラス類を中心に、バナナ・柑橘や野菜、花卉などの新鮮でおいしい輸入青果物を安全・確実に供給する集配基地です。産地国からコンテナや大型専用船により到着した輸入青果物は、植物検疫検査の結果 必要な場合はくん蒸を行い、輸入手続、定温保管などを経て、西日本各地にトラックで配送されます。

1994（平成6）年9月の関西国際空港の開港にあわせて、南大阪方面にも事業を展開していきます。

1995（平成7）年7月、大阪都心部と関西国際空港の中間に位置する泉大津市助松突堤の「トライポートサザン21」に南大阪青果センターを竣工し、農産物や青果物を主として取り扱いを行いました。7月13日には南アフリカからスワジランド産のアウトスパングレープフルーツとレモン約3万8,000カートンを積載した本船「FITZROY」が入港しました。

続いて1997（平成9）年2月には、関西国際空港の対岸に位置する「りんくうタウン」にりんくう物流センターを竣工。2008（平成20）年4月に、りんくう物流センターB棟を増築しました。

また、堺泉北港・阪南港の公共岸壁にて、青果物・輸入（MA）米など本船卸し荷役作業、KR（輸出）米・中古車など本船積み荷役作業を行っております。



りんくう物流センターB棟

花卉輸入・食品輸出への事業拡大

2010（平成22）年4月に、堺出張所内に新たに花卉営業課を発足し、花卉の物流をスタートさせました。商品の寿命の短い生花は航空輸送が一般的ですが、港湾を中軸とした上組独自のネットワークを活かし、かつ、入港、植物検疫から通関、配送までの一貫作業によって時間短縮とコスト削減を実現し、多彩な輸入切り花を全国の市場に届けています。

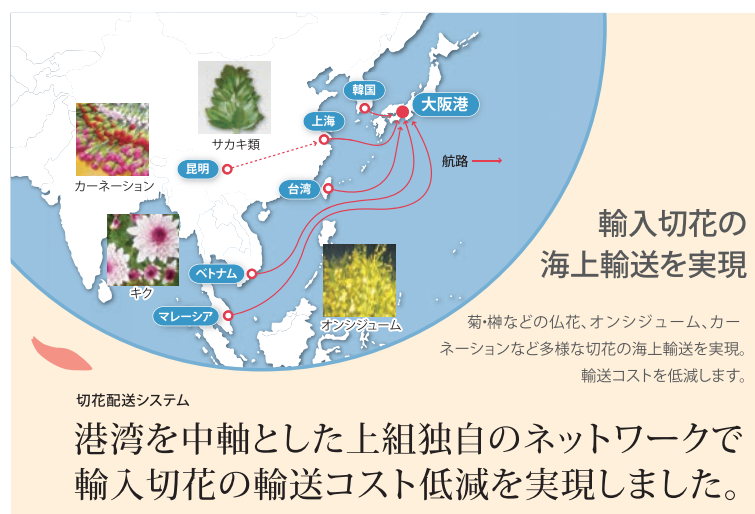
また、食品輸出室を設け、2015（平成27）年2月よりイチゴなどを関西国際空港から空輸、あるいは阪神港からの海上輸送で、香港の各店舗にまで配送する一貫サービスを開始しました。迅速な国内集荷と適切な温度管理により、安全・安心な商品を新鮮なまま届けるもので、アジア諸国の富裕層の購買力向上とブランド志向の高まりによるニーズに応えています。季節に合わせた果物だけでなく、それ以外の様々な日本産食品の取扱いを拡大しています。

2020（令和2）年4月「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律」が施行され、政府は2030年までに農林水産物・食品の輸出額目標を5兆円に設定し、それが追い風となりました。

近年では、輸出向け農産物・食品の取り扱いも増加しています。

2022（令和4）年5月には堺泉北港の港湾管理者である大阪府策定の「農林水産物・食品輸出促進計画」が国土交通省に認定され、堺泉北港が全国2港目の「産直港湾」となりました。

2023（令和5）年3月にコールドチェーン確保のための温度・衛生管理が可能なエアーシェルター（2基）が堺青果センター第2定温上屋に整備されました。

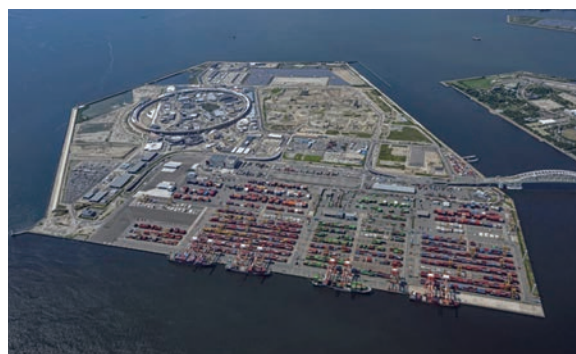


当社は、「産直港湾『堺泉北港』」を核とした阪神港等を通じた農林水産物・食品輸出促進協議会のメンバーでもあり、輸出産物等の取り扱い強化に向けた取り組みを続けています。



上組大阪支店のこれから

本年2025（令和7）年4月13日～10月13日の184日間「大阪・関西万博」が開催され、また大阪IRは2030年秋頃の開業に向けて工事が進められます。当社は、夢洲に2014（平成26）年4月、約4



万500㎡に及ぶ土地を購入しております。度重なる建設コストの高騰など問題は山積みですが、広大な土地と地の利を活かした、お客様のニーズにお応えすべく物流施設建設を検討し、今後の業容拡大の要となるよう考えています。

「ゆめのしま」が、今後ますます賑わい、大阪・関西にますます大きな経済発展を生みだすことを期待し、貢献できるよう、共に歩み続けていきたいと思っています。

大王海運株式会社:誠意と熱意を胸に、総合物流で社会を支える

大王海運株式会社

1985（昭和60）年11月1日に産声を上げた大王海運株式会社は、「誠意と熱意」を社是として掲げ、愛媛県四国中央市に本社を構える総合物流企業です。港湾荷役業と船舶代理店業を祖業とし、以後は、海上運送業を中核に据え、陸上運送、倉庫、通関等、多岐にわたる物流事業を国内外へと展開し、地域社会の発展に貢献するとともに、時代の変遷と顧客の多様なニーズに柔軟に対応してきました。現在では、大王海運の営業拠点は、全国に展開し、海運事業を核とした総合物流サービスを提供しています。

主な拠点は以下の通りです。

- 四国本社：愛媛県四国中央市
- 東京本社：東京都千代田区
- 支店・営業所：仙台／千葉／東京港(分室)／大阪(大阪市中心部、泉大津市)
岡山／博多／沖縄／四国(四国中央市)
- 海外：上海／フィリピン／オランダ



▶ 紙産業の町、四国中央市を拠点とした地域経済への貢献

四国中央市は、古くより高品質な紙製品の生産地としてその名を知られています。この地、金子地区に位置するコンテナヤードは、四国管内屈指の取扱量を誇り、地域経済における輸出入の要衝としての役割を担っています。大王海運は、この重要な物流インフラを最大限に活かし、顧客の多様なニーズに応じた最適かつ効率的な海上・陸上一貫輸送サービスを提供することで、地域に根差した紙産業をはじめとする諸産業の発展を力強く支援しています。



位置するコンテナヤードは、四国管内屈指の取扱量を誇り、地域経済における輸出入の要衝としての役割を担っています。大王海運は、この重要な物流インフラを最大限に活かし、顧客の多様なニーズに応じた最適かつ効率的な海上・陸上一貫輸送サービスを提供することで、地域に根差した紙産業をはじめとする諸産業の発展を力強く支援しています。

▶ 多様化する物流ニーズに精緻に対応する総合力

大王海運の強みは、顧客の抱える多様な物流ニーズに対し、単一の窓口で包括的なソリューションを提供できる点にあります。内航・外航の海運事業を中核とし、陸上輸送、倉庫保管、通関、港湾荷役作業に至るまで、サプライチェーンに関わるあらゆる機能を自社で保有。これらの緊密な連携を通じて、安全かつ確実な貨物輸送を実現しています。特に、海上輸送と陸上輸送を最適に組み合わせ、環境負荷



の低減と効率化を両立させた「海陸複合一貫輸送」は、その卓越した効率性とコスト競争力により、多くのお客様から高い評価を得ています。

さらに、グループ会社の美須賀海運株式会社では、外航船の安全でスムーズな運航を支える船舶管理、専門知識と技術を持つ外国人船員の育成・配属を行う船員管理、そして船舶の所有・運用を行う船主業といった、船舶に関する様々な専門業務を行っています。長年の経験で培われた海運に関する深い知識と豊富な経験を活かし、自社だけでなく、船舶に関する様々な要望にもしっかりと応えできる、安定した事業体制を築いています。



▶ 社会的課題の解決に貢献する RORO 船事業と外航チップ船事業

近年、物流業界は、トラックドライバーの高齢化と深刻な人手不足、そして地球規模での喫緊の課題である環境負荷の低減という、二つの大きな社会問題に直面しています。大王海運は、これらの課題の解決に積極的に貢献するため、効率的かつ環境に優しい輸送手段である RORO（Roll-on/Roll-off）船事業を、事業戦略の重要な柱の一つとして強力に推進しています。



RORO 船は、トラックシャーシや建設機械、完成自動車などの多種多様な貨物を、自走または牽引により直接船内に積み降ろしできる特殊な船舶です。この革新的な効率的輸送システムにより、港湾での荷役時間を大幅に短縮できるだけでなく、従来のトラック輸送と比較して CO2 排出量を大幅に削減することが可能です。

大王海運の RORO 船事業は、2002年に瀬戸内と首都圏を結ぶ定期航路を開設以来、着実に輸送能力を拡大してきました。現在では3隻のRORO船が、関東、関西、中国、四国を結ぶ広範なデیلیー運航ネットワークを構築し、日本の主要な物流動脈の一翼を担うまでに成長しました。

2021年には、最新鋭の省エネ技術を投入した「第五はる丸」「第六はる丸」が相次いで竣工し、国土交通省の「内航船省エネルギー格付制度」で最高評価である5つ星を獲得するなど、環境負荷低減への具体的に貢献しています。



これらに加え、大王海運は RORO 船事業に先駆けて、外航チップ船事業においても長年にわたる豊富な実績を有しています。木材チップなどのばら積み貨物を効率的に輸送するチップ船の運航は、同社の海上運送業における重要な基盤の一つであり、資源輸送の安定化と効率化に大きく貢献してきました。このチップ船運航で培われた、高度な海上輸送に関する深いノウハウと豊富な経験が、その後の RORO 船事業の円滑な展開においても大いに活かされています。

▶ 堺泉北港と関西営業部

大王海運の関西営業部は、大阪湾に面した堺泉北港を RORO 船事業における極めて重要な戦略拠点と位置づけ、本州と四国を結ぶ効率的な航路を積極的に展開しています。2002年の寄港開始時より堺泉北港には千葉発・四国発の上下便が月曜～土曜の週6便（計12便）が定期寄港しており、日々様々な製品輸送でご利用頂いています。関西→関東では、主に鋼材や鉄管、化学品などを、また関東→関西では化学品や飲料、完成自動車を輸送しています。近年ではいわゆる「物流の2024年問題」を契機に、関西→中国・四国への輸送も従来のトラック陸送から海上輸送への転換も進んできています。また、堺泉北港は東向け / 西向けの内航船のトランシップ港として他港には無い重要な拠点となっています。当社船で関東・東北→堺泉北港へ輸送されたシャーシをそのまま北九州・南九州への他社船に積替えて一貫して輸送することが可能です。このように多様な貨物を効率的に輸送することで、関西圏を含む全国の顧客の広域輸送ニーズに的確かつ柔軟に対応しています。さらに堺泉北港において高石市の小学生を対象とした RORO 船見学会を開催するなど、地域社会との連携も積極的に行っています。これは次世代に対して海上輸送や港湾の役割を伝える SGDS への取り組みの一環です。今後の展望として、大王海運関西営業部は、堺泉北港の持つ地理的な優位性と潜在的なポテンシャルを最大限に活かし、トラック輸送から船舶輸送への転換、すなわちモーダルシフトをさらに強力に推進することで、環境負荷の低減と物流効率化に貢献していく方針です。また、利用運送事業の拡充や、顕在化しつつある新たな輸送ニーズへの的確な対応を通じて、顧客のサプライチェーン全体を最適化する、信頼できるパートナーとしての役割を強化し、事業領域の更なる拡大を目指します。



▶ 未来への展望

創業以来、長年にわたり培ってきた海上輸送に関する深いノウハウを強固な基盤とし、大王海運は常に社会のニーズを的確に捉え、変化を恐れることなく、未来に向けて力強く前進しています。海運事業における安全性の確保は、企業の存続と発展の根幹をなす、最も重要な責務の一つとして深く認識しています。安全運航に関する国際的な規制や国内法規を厳格かつ完全に遵守し、日々の船舶の徹底的な安全点検、乗組員の定期的かつ高度な教育・訓練の実施、そして最新の知見に基づいた安全管理体制の継続的な改善を徹底することで、人命に関わる海難事故の未然防止に全力を尽くしています。また、将来的には、AI（人工知能）やIoT（Internet of Things）、ビッグデータ解析などの最先端技術の戦略的な導入も視野に入れ、より高度な物流最適化、徹底的な自動化、そして省人化を積極的に追求していくと考えられます。これらの革新的な取り組みを通じて、顧客に対して、より一層高品質で効率的、かつ付加価値の高い、未来型の物流サービスの提供を目指していきます。

金融+で、未来をプラスに。RESONA GROUP

専門知識を持った
社員が
丁寧にサポート

輸出入、海外送金等、
多様な外為業務に
対応

海外現地法人の
口座開設・
資金調達に対応

充実した
関西みらい外為
Webサービス



(2024年2月29日現在)

アジアを中心とした海外ビジネスに関する
ご相談はお気軽に弊社までお問い合わせくだ
さい。



関西みらい銀行



公益社団法人 近畿海事広報協会



国民の祝日「海の日」は、制定当初は7月20日、2003年からは7月の第3月曜日に「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日」として1996年から実施されています。

近畿海事広報協会では、海の日の関連行事として「中学生海の絵画コンクール・中学生海の作文コンクール・海の写真コンクール」などの広報活動を実施するとともに、若い世代のみなさんや教育現場の方々に海事産業の重要性を理解してもらうための乗船体験会などを実施する「船との出会い事業」や「海事知識普及事業」などを行っています。

各関係機関ならびに関係諸団体様が
実施する「海の日」関連行事予定を
近畿海事広報協会webで公開して
おります。



公益社団法人近畿海事広報協会

会長 星野 公彦 副会長 太田垣 充

副会長 増子 祐司 専務理事 角谷敬二郎

大阪市港区築港3丁目7-15 港振興ビル 204

TEL:06-6573-6387

FAX:06-4394-8090

近畿海事広報協会 web <https://kinkikaiji.sakura.ne.jp/>

港湾地域における円滑な物流活動を支援すること
を通じて社会に貢献していきます



堺泉北埠頭株式会社

SAKAI SEMBOKU WHARF Co.,Ltd



埠頭運営事業

青果事業

上屋賃貸事業

中古車ストックヤード賃貸事業

シャーシプール賃貸事業

緑地運営事業

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル9F TEL.0725(20)2270 FAX.0725(20)2281
堺青果センター 〒590-0987 堺市堺区築港南町12番地 TEL.072(222)0391 FAX.072(232)1241

ボウリング カラオケ 団体予約承ります!!



ボウリング 1F 10レーン
2F 18レーン



地下1階 カラオケ19部屋 大部屋有

泉大津フタバボウル

〒595-0072
泉大津市松之浜町1-2-53

ボウリング 0725-22-8128

カラオケ 0725-33-8920

南海 松ノ浜駅より徒歩2分

無料駐車場67台完備

送迎バス有(要予約)

限りのない挑戦が新しい未来を創造する

"Our never ending challenges create the world's future"



**HEIWA
AUTO**

平和オート株式会社【中古車輸出事業】

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6-1 きららセンタービル12階

TEL: 0725-20-1010 HP: <https://www.heiwa-auto.co.jp/>



HA HOLDINGS を通じて

新たなライフスタイルサービスも展開しております。



**FIT365
フィットネスジム**

貝塚店

東岸和田店 和泉富秋店



岸和田春木店

岸和田八飯店 富田林店



お席で注文 食べ放題

泉佐野店

和泉中央店 岸和田店



なぎさ公園にてBBQ施設営業中
※営業日についてはHPをご確認ください。

泉大津港湾振興会

会長 南出 賢一 (泉大津市長)

副会長 森本 護 (大一機工(株)専務取締役)

副会長 中林 政一 (藤原運輸(株)大阪支店 統括営業部長)

副会長 中田 憲正 (堺泉北埠頭(株)相談役)

〒595-8686 泉大津市東雲町9-12

泉大津市市長公室 地域経済課内

TEL. 0725 (51) 7651 FAX. 0725 (32) 6000



ENEOS

ENEOS株式会社 堺製油所

〒592-8550 大阪府堺市西区築港浜寺町1番地

大阪府タグ事業協同組合

理事長 小幡 斉 副理事長 小磯 潮
副理事長 神本 貴司 専務理事 長田 喜夫

泉大津市なぎさ町6番1号 きららセンタービル8階
TEL.0725(31)0521 FAX.0725(31)0578

構成組合員

関西港湾サービス株式会社	社 長	井内 義之
内海曳船株式会社	社 長	安本 浩之
日東タグ株式会社	社 長	神本 貴司
三洋海事株式会社	社 長	小磯 潮
日本海事興業株式会社	社 長	和田 協一
株式会社武丸海運	社 長	櫛原 誠
昭陽汽船株式会社	社 長	戸村 鋭治
日本栄船株式会社	社 長	田村 啓造

貝塚港湾労働者福祉センター内にて

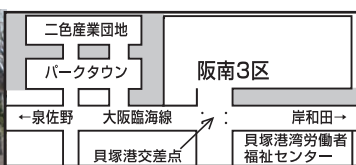
みんなの
食 堂 ^{テッペン} 頂

営業中！

貝塚港湾振興会

お気軽にお立ち寄りください！

会 長 酒 井 了（貝塚市長）
副会長 東 村 一 夫（貝塚商工会議所会頭）
副会長 仙 波 美智代（奥本製粉㈱代表取締役社長）



貝塚港湾労働者福祉センター
貝塚市港 25 番地 Tel.072(431)5554

〒597-8585 貝塚市畠中 1 丁目 17 番 1 号
貝塚市都市整備部都市計画課内
TEL.072(433)7246（直通）
FAX.072(433)7511（代表）



岸和田港振興協会

会長 佐野 英利（岸和田市長）
〒596-8510 岸和田市岸城町7-1（岸和田市魅力創造部産業政策課内）
TEL:072(423)9618 FAX:072(423)6925

堺港湾振興会

Sakai Port Promotion Association



会 長 堀畑 浩重（阪南倉庫㈱代表取締役社長）
副会長 井内 義之（関西港湾サービス㈱代表取締役社長）
副会長 上西 浩（堺市産業振興局長）

〒592-8332 堺市西区石津西町 26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368 FAX 072(244)3496

汐見埠頭協議会

会長 角野 錦吾（朝日海運株式会社）

副会長 甲斐 信之（間口運輸株式会社）

副会長 佐々野 健二（山九株式会社）

泉北港港運協議会

会長 衣畑 拓也（中谷運輸株式会社）

〒595-0075 泉大津市臨海町2丁目1 泉北5区港湾労働者福祉会館内

TEL 0725(21)4377 FAX 0725(21)4377

高石港湾振興会

会長 畑中 政昭（高石市長）

副会長 山内 和彦（高石商工会議所会頭）

副会長 篠原 宏敬（株式会社上組大阪支店堺出張所長）

〒592-8585 高石市加茂4丁目1番1号 高石市総合政策部 まち未来戦略室 産業共創課内

TEL 072(265)1001 FAX 072(263)8143



神戸港
新門司港
泉大津港

Hankyu Ferry

北九州 | 新門司 | 神 戸 | 大 阪 |
新門司 | 六甲アイランド | 泉大津



スイートルーム



露天風呂

阪九フェリー

旅客 乗用車

ご予約・お問い合わせ
0570-01-8989

トラック

新門司…093-481-6681
神 戸…078-857-1223
泉大津…0725-22-6361

公式HP

チケットレスで、スムーズに。



高品位尿素水

AdBlue®

日本製

AdBlue製造・販売メーカー

- ☆1kℓタンク 無償貸与！
- ☆ガンホースセット無償提供(5m迄)
- ☆給水時にタンク内の汚れチェックします！
- ☆定期給水等も承ります！
- ☆大阪以外の都府県も極力対応致します。

面談希望の方は06-6753-5918へ
お気軽にご連絡ください。

65円!!

/1ℓ (税別)
※給水の場合

泉大津埠頭株式会社

代表取締役社長 南出 賢一

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6番1号
TEL.0725(33)6851 FAX.0725(33)4425

海・陸 一貫くらしを支えます！



大阪運輸株式会社

本社 〒559-0013 大阪市住之江区御崎6-3-1

TEL.(06)6682-8808(代表) FAX.(06)6682-8818

URL. <http://www.osakaunyu.jp/> 大阪運輸 検索

大阪府水難救済会



会 長 高 田 威

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368 FAX 072(244)3496



美しく安全な港を

堺泉北港及びその周辺海面の清掃等を行い、
航行船舶の安全と環境の向上に努めています。

※新規会員の申込を受け付けています。

一般社団法人 大阪府清港会

会長 鈴木 隆

〒592-8331 堺市西区築港新町4丁3番地
TEL.072(244)7571 FAX.072(247)1314

KAMIGUMI

<https://www.kamigumi.co.jp/>



株式会社 上組

本 店 神戸市中央区浜辺通4丁目1番11号
TEL.078-271-5110(代表)
大阪支店 大阪市港区築港2丁目8番24号
TEL.06-6576-4101

THE BEST FROM THE WORLD

いいものを世界から

服飾事業・不動産賃貸業・営業倉庫業

株式会社 **カワサキ**

<https://www.kawasaki-corp.co.jp/> 【上場コード 3045】

本社 〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

TEL.072-439-8011 FAX.072-439-8013

大阪支店・東京支店

南海本線 泉大津駅前 ホテル **レイクアルスター** アルザ泉大津



一品一品に旬の息吹にあふれた素材をふんだんに取り入れ、
職人が腕をふるう本格会席料理でおもてなし致します。

●ご宿泊・ご宴会予約、承ります●

TEL.0725-20-1121 FAX.0725-23-1959



曳船業・海上防災業・船舶代理店業・繋離船業
関西港湾サービス株式会社

代表取締役社長 **井内 義之**

本社／〒590-0974 堺市堺区大浜北町3丁4番2号
TEL 072(238)3965 FAX 072(238)3968

- 軽水炉(PWR/BWR)用原子燃料の開発・設計及び製造
- 軽水炉(PWR/BWR)の炉心管理サービス
- 新型炉HTRその他研究炉用燃料
- 原子燃料サイクル関連技術開発
- 原子燃料関連検査装置等の設計・製作



ベレット君



原子燃料工業株式会社

本社 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央四丁目33番5号 TEL 045-500-6310
熊取事業所 大阪府泉南郡熊取町朝代西1丁目950番地 TEL 072-452-3901
(泉大津工場) 泉大津市河原町7番5号 TEL 0725-22-3363
大阪営業部 大阪府西區土佐堀一丁目3番7号 TEL 06-6443-0628



東証プライム上場企業

**住まいと暮らしを
より快適により便利に**



近畿・東海・関東・
東北・中国・四国・
九州地区に
ネットワークを
展開中。

コーナン商事株式会社 コーナンホームページアドレス <http://hc-kohnan.com>
本部：〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号 TEL 06-6397-1621(代)

コスモ石油株式会社
堺製油所

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町三丁目16番地

TEL : 072-245-8551 FAX : 072-245-1249

URL : <http://www.cosmo-oil.co.jp>

「ありがとう」の気持ち会社が社名です。

サンキュー SINCE1918. 物流で世界を結ぶ

山九株式会社 泉北支店

港湾運送事業 輸出入海貨代理店業 倉庫業 国際複合一貫輸送業 船舶代理店業
国内外海上輸送業 国内陸上輸送業 航空貨物取扱業 建設業

支店	堺市西区浜寺石津町東2丁3-30	TEL.072(243)3900(代)
泉北港事務所	泉大津市汐見町111-5	TEL.0725(33)0539
泉北物流センター	堺市西区築港新町2丁6-8	TEL.072(243)0039
助松物流センター	泉大津市小津島町6番7	TEL.0725(23)7239
関西ケミカルセンター	高石市高砂2-1	TEL.072(268)3909

物流のあらゆるニーズにお応えいたします！

一般港湾運送事業・貨物運送取扱業・倉庫業・通関業
海運代理店業・梱包請負業・港湾荷役・損害保険代理業



新洋海運株式会社

代表取締役 社長執行役員 稲葉 徹志

本社：〒590-0954 大阪府堺市堺区大町東1丁目1番10号
TEL：(072) 238-1161 FAX：(072) 223-4050
URL : <http://www.shin-yo.co.jp/>

支店：南港・泉北 事業所：塩浜・大浜・桑名・宮崎
営業所：東京・博多 海外現地法人：ベトナム・タイ

大阪府公安委員会 第62000413号 (一社) 大阪府警備業協会会員



安心・安全・信頼 真心のサービスを提供
第一警備保障株式会社

代表取締役社長 **阪本 敦史**

〒595-0055 泉大津市なぎさ町2番10号
TEL 0725-33-6787
FAX 0725-33-7649

海陸複合一貫輸送により物流戦略をサポートします。
RORO船定期航路利用によるモーダルシフトの促進



大和海运株式会社

代表取締役社長 **岩井 正実**

ISO9001:2008認証取得 ISO14001:2004認証取得

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目2番5号 飯田橋メインビル
TEL.03-3261-6815 FAX.03-3261-7310

港湾運送業 倉庫業 建設業 通関業



Daito Co., Ltd.

LOGICAL & DYNAMIC

株式会社 大都

代表取締役社長 間口 豪

〒552-0022 大阪市港区海岸通2丁目1-11
TEL.06-6574-0125 <https://www.daito.biz/>

HARMONY & SINCERITY SINCE 1902



nakatani

中谷運輸株式会社

代表取締役社長 中谷 庄司朗

〒552-0022 大阪市港区海岸通1丁目5番22号
TEL.06-6572-5021 FAX.06-6574-1023



HAKKO
ひなた

通関・海陸一貫輸送業

八興運輸株式会社

〒595-0074 大阪府泉大津市小津島町4番地
TEL.0725-90-5385 FAX.0725-90-5485



間口運輸株式会社

創業 明治34年

代表取締役社長 間口 敦生

港湾運送事業 港湾荷役事業
倉庫業 通関業

〒552-0021 本社 大阪市港区築港2丁目8番34号

「大阪府のみなと」への ご意見・ご感想及び広告の募集



(一社)大阪府港湾協会では「大阪府のみなと」への皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

併せて「大阪府のみなと」への広告掲載も募集しております。

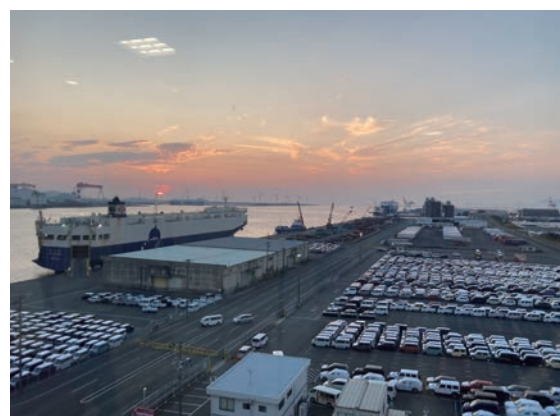
頂いた広告は会員情報欄に掲載します。

ご意見・ご感想や広告掲載に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

(一社)大阪府港湾協会

住所: 〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル10階
TEL.0725-20-0690 FAX.0725-21-7259 E-mail: kyoukai@fship.or.jp





先進港視察



(一社) 大阪府港湾協会

～ 新規会員募集のご案内 ～

(一社) 大阪府港湾協会は府営港湾各港の振興対策の推進、府域の産業経済の発展と府民生活の向上、並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与することを目的とする一般社団法人です。

大阪府営港湾の振興の一環として、会員企業・団体の皆さまに各種セミナーのご案内(参加無料)や会報誌『大阪府のみなと』の広告掲載など、日頃の業務にお役立ていただけるサービスを実施しております。

会員向けサービス

- 総会記念講演会
- 各種セミナー
大阪みなとセミナー 等
- 先進港視察 開催
★視察先一例
(令和6年度)
・第六管区海上保安本部
備讃瀬戸海上交通センター
・香川県高松港 ・(株)新来島サノヤス造船
・岡山県水島港
(令和5年度)
・千葉県木更津港
・神奈川県横須賀港
(令和4年度)
・愛知県三河港
・フォルクスワーゲングループ
ジャパン(株)本社視察
- 会報誌『大阪府のみなと』
府営港湾に関わる様々なニュースやイベントを掲載しております。
(無料配布・年3回発行)

【会費】

1口1万円～(年間)



【お問合せ】

(一社) 大阪府港湾協会 事務局
〒595-0055
大阪府泉大津市なぎさ町6番1号
堺泉北港ポートサービスセンタービル10階
Tel 0725-20-0690 Fax 0725-21-7259
E-mail kyokai@fship.or.jp

【公式ホームページ】

アドレス <https://www.fship.or.jp/>
(大阪府営港湾 WEB サイト Friend & Ship)

会 員 名 簿

(株)アイ・エー・エー	関西電力(株) 堺LNGセンター	泉南市	阪南港運(株)
朝日海運(株)	関西トランスウェイ(株)	(一社)全日検 大阪支部	阪南市
(株)アテックス	(株)関西みらい銀行	泉北港港運協議会	阪南倉庫(株)
イースタン・カーライナー(株) 泉北営業所	関西木材(株)	大一機工(株)	阪和流通センター大阪(株)
泉大津港湾振興会	岸和田港湾荷役(株)	第一警備保障(株)	広道商店
泉大津市	岸和田市	(株)大運	藤原運輸(株)
泉大津商工会議所	岸和田商工会議所	大王海運(株)	(株)不動テトラ 大阪支店
泉大津埠頭(株)	岸和田港振興協会	Daigasガスアンドパワーソリューション(株) 泉北製造所	平和オート(株)
泉大津マリン(株)	(特非)紀泉地域21総合整備協議会	(株)大都	(株)ベスト・プロパティ
泉佐野市	共立梱包(株)	(株)大日警 大阪営業所	豊国石油(株)
泉佐野商工会議所	共和海建(株)	大利運輸(株)	POSCO Japan PC (株)
一心港運(株)	(公社)近畿海事広報協会	高石ケミカル(株)	(株)北海鉄工所
岩谷液化ガスターミナル(株)	近畿港運(株)	高石港湾振興会	北港運輸(株) 南大阪支店 泉南センター
岩出建設(株)	(株)クリエイション	高石市	(株)眞壁マテリアル
(株)エヌティーシー	(株)栗本鐵工所 堺工場	高石商工会議所	間口運輸(株)
E N E O S (株) 堺製油所	K H ネオケム(株) 堺物流センター	(株)武丸海運	(株)松菱
大阪運輸(株)	ケイビン海運(株)	田尻町	丸一鋼管(株) 堺工場
大阪運輸倉庫(株)	原子燃料工業(株) 熊取事業所	忠岡町	丸全昭和運輸(株) 関西支店
大阪機船(株) 南海支店	(株)合通ロジ	(株)辰巳商会	丸全昭和運輸(株) 堺泉北支店
(一財)大阪港湾福利厚生協会	鴻池運輸(株)	田中土建(株) 大阪南合材センター	丸紅エネックス(株) 堺ターミナル
大阪製鐵(株) 岸和田工場	コーナン商事(株)	チヨダウーテ(株) 貝塚工場	岬町
大阪船主会	コスモ石油(株) 堺製油所	(株)土田組	三井化学(株) 大阪工場
大阪府	(株)サウスポイント	(株)Dear Laura	三井金属パーライト(株)
大阪府漁業協同組合連合会	堺港湾振興会	D I C (株) 堺工場	港通船運輸(株)
(一社)大阪府清港会	堺市	東亜建設工業(株) 大阪支店	南大阪埠頭(株)
大阪府タグ事業協同組合	堺商工会議所	東洋建設(株) 大阪本店	(株)やまと
(公財)大阪府都市整備推進センター	堺泉北港湾砂利石材協同組合	(株)東洋信号通信社	(株)ヤマモト鉄工所
(一財)大阪府マリーナ協会	堺泉北船舶安全協議会	内海曳船(株) 堺出張所	郵船港運(株)
大阪府みなと友好倶楽部	堺泉北埠頭(株)	内外輸送(株) 大阪支店	U B E (株) 堺工場
大阪府ヨットセーリング連盟	(株)堺ポートサービス	中谷運輸(株)	(株)横河ブリッジ
(一社)大阪木材コンビナート協会	栄運輸工業(株)	(株)西村運輸倉庫	(株)吉田組 大阪支店
大阪湾広域臨海環境整備センター	阪口倉庫(株)	(株)日新 関西倉庫部	ライオン(株) 大阪工場
大豊運輸倉庫(株)	阪本薬品工業(株) 泉北工場	日鉄物流(株) 関西支店	(株)ONE CROSS
(株)オーナミ 関西事業部	櫻井工業(株) 製材所	日東タグ(株) 阪神本部	
奥田数(株)	(株)さくらコーポレーション 泉大津支店	日東物流(株) 大阪支店	
奥本製粉(株)	山九(株) 泉北支店	日本製鉄(株) 関西製鉄所	
貝塚港湾振興会	産業振興(株) 西日本営業部 関西営業所	日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所 阪神地区(堺)	
貝塚市	三興倉庫(株)	日本通運(株) 大阪国際輸送支店	
貝塚商工会議所	三洋海事(株)	日本栄船(株)	
梶野産業(株)	サンワールド(株)	日本海事興業(株) 神戸・大阪営業所	
金澤運輸(株)	汐見埠頭協議会	日本酢ビ・ポパール(株)	
カナデビア(株) 堺工場	新関西国際空港(株)	日本振興事業協同組合	
要薬品(株)	新関西製鐵(株)	日本トランスシティ(株) 大阪支店	
兼杉興業(株)	伸共運輸(株)	船用商事(株)	
(株)上組 大阪支店 堺出張所	新洋海運(株)	畑野工業(株)	
(株)カワサキ	(株)スバルロジスティクス 関西納整センター	八興運輸(株)	
関空泉大津ワシントンホテル	(株)住友倉庫	(株)PALTAC	
関西港湾サービス(株)	センコー(株) 南大阪支店	パレ・フタバ(株)	令和7年7月1日現在
関西電力(株) 火力事業本部	泉州トラック事業協同組合	阪九フェリー(株) 泉大津支店	会員 180 団体



東日本大震災の復興支援として大阪府から釜石港へ
無償譲渡されたガントリークレーン

一般社団法人

大阪府港湾協会

FRIEND & SHIP
大阪府営港湾振興Webサイト



〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号 TEL.0725-20-0690

印刷発行／令和7年7月

※乱丁はお取り替え致します。